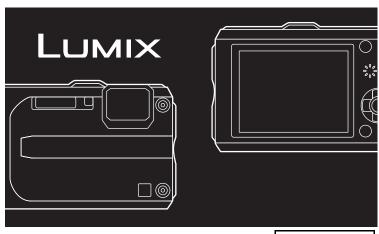
Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-FT3

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（160～165ページ）、「（重要）本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」（8～11ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

HDMI AVCHD™ DOLBY DIGITAL CREATOR

VQT3L21-1

安全上のご注意
はじめに（防水について）
準備
基本
撮影
再生・編集
他の機器との接続
その他Q&A

海辺、キャンプや登山など アウトドアシーンで 活躍する性能、機能を装備

防水/防じん/耐衝撃

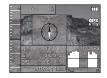
- 「防水、防じん、耐衝撃」性機能搭載
- 水深12 mまで潜水可能
- 水辺や水中で撮る(P8～11)

GPS機能搭載

- GPS情報を受信して現在位置を表示し、撮った画像に記録(P68)
- 自宅などお好みの場所をランドマー クとして本機データベースに登録(P72)

方位計/高度計(水深計)/気圧計を搭載

- 登山やトレッキング時、標高や気圧を確認したり、方位計を使ってルートの割り出しなどアウトドアでの撮影に充実した機能(P74)

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（160～ 165ページ）

はじめに（防水について）

準備

基本

撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください（160～165ページ）

再生・編集

他の機器との接続

その他・Q & A

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて（浸水や故障を防止するために）

- 砂やほこりの多いところでの側面扉の開け閉めは側面扉の内側（ゴムパッキンや端子接続付近など）に砂粒などの異物が付着するおそれがあり、異物が付着した状態で側面扉を閉めると防水性能が損なわれます。また故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。
- 側面扉の内側に異物が付着した場合は付属のブラシで取り除いてください。
- 本機または側面扉の内側に水滴などの液体が付着した場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。水辺、水中、ぬれた手、本機がぬれた状態での側面扉の開け閉めは行わないでください。浸水の原因になります。

本機を落としたり、ぶつけたりして強い衝撃や振動を与えないでください。また強い圧力をかけないでください。

（例）・本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる。
・本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる。
・本機を水深12 mより深いところで使用し、強い水圧がかかった場合。

- 防水性能が損なわれる場合があります。
- レンズや液晶モニターが破壊される場合があります。
- 性能、機能の故障になる場合があります。

■ レンズの内側がくもるとき（結露）

本機の故障や不具合ではありません。使用環境により発生する場合があります。

レンズの内側がくもった場合の対処方法

・電源を切り、高温･多湿、砂やほこりの多いところを避け、周囲の温度が一定の場所で側面扉を開けてください。側面扉を開けた状態で約10分～2時間そのままにしておくと周囲の温度になじみ、くもりが自然にとれます。
・くもりが取れない場合は、お買い上げの販売店かお近くの修理ご相談窓口（P167）にご相談ください。

レンズの内側がくもりやすい条件

以下のような温度差が激しいまたは湿度が高い条件下で使用した場合、結露が発生し、レンズの内側がくもる場合があります。

・高温の水辺などから急に水中で使用した場合
・スキー場や標高の高いところなどの寒冷地から暖かい場所に移動した場合
・多湿な環境で側面扉を開けた場合

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください（P146）

GPS について

本機の地名情報について

お使いの前に152 ページの「地名データ使用許諾契約書」をお読みください。

[GPS設定]を[ON]に設定していると、電源を切っても、GPS機能が働きます

- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、離着陸時や使用を禁止された区域では、[GPS設定]を[OFF]または[✈GPS]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。(P68)
- [GPS設定]が[ON]のときは、電源を切った状態でもバッテリーが消耗します。

撮影地の情報について

- 撮影地の地名やランドマーク(建物の名称など)は、2010年12月現在のものです。更新はされません。
- 国や地域により、地名やランドマークの情報が少ない場合があります。

測位について

- GPS 衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。(P68)
- **初めて測位するときや、[GPS設定]を[✈GPS]または[OFF]にして電源を切り、再び電源を入れて測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約 2 ～ 3 分かかる場合があります。**
- GPS衛星の位置は刻々と変化していますので、撮影する場所や状況により、正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。

海外旅行などでお使いの場合

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。(2010年12月現在)
- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

方位計、高度計、水深計、気圧計について

- **本機で計測される情報はあくまでも目安です。専門的な用途でご使用にならないでください。**
- **本機を登山やトレッキング、水中でご使用の際は計測される情報(方位、高度、水深、気圧)を目安としてお使いのうえ、必ず地図や専用の計測器を携帯するようにしてください。**

（重要）本機の防水/防じん、耐衝撃性能について

防水/防じん性能
JIS保護等級IP68に相当し、水深12 m/60分までの撮影が可能です。（※ 1）
耐衝撃性能
MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社の試験（厚さ3 cmの合板上で2 m の高さからの落下試験）をクリアしています。（※ 2）

すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

※1 当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。

※2 MIL-STD 810F Method 516.5-Shockとは、米国国防総省の試験法規格で、落下高さ122 cm、落下方向26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を5台のセットを用いて、5台以内で26方向落下をクリアすることと規定されています。（試験途中で不具合が生じた場合は、新たなセットを用いて合計5台以内で落下方向試験をクリアすること）
当社試験法は、上記MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準として、落下高さ122 cmを200 cm とし、厚さ3 cm の合板上へ落下させる試験をクリアしています。
（落下衝撃部分の塗装剥離・変形など外観変化は不問とします）

■ 取り扱いについて

- 本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。カメラに衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口（P167）にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検（有料）をおすすめします。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼けオイル、日焼け止め、薬品などの飛まつがかかったときは、速やかにふき取ってください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。（P166）
- 本機内部は防水仕様ではありません。浸水した場合は故障します。
- 付属品は防水仕様ではありません。（ハンドストラップを除く）
- カードやバッテリーは防水ではありません。ぬれた手で取り扱わないでください。また、ぬれたカード、バッテリーを本機に入れないでください。
- 本機を寒冷地での低温下（スキー場や標高の高いところなど）、または、40 ℃以上の高温になるところ（特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内、暖房機の近く、船上、砂浜など）に長時間放置しないでください。（防水性能が劣化します）

■ [防水などの注意点] デモ表示について

- お買い上げ時に、側面扉を完全に閉じた状態で初めて電源を入れると、[防水などの注意点]が表示されます。
- 防水性能を保つため、事前にご確認ください。

1 ◀ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

- 開始前に[いいえ]を選ぶと、時計設定画面に自動的にスキップします。

防水などの注意点
防水カメラのお取り扱い
注意点について、
今ご覧になりますか?
はい　いいえ
選択　決定

2 ◀/▶ で画像を送る

◀:前の画像へ　　▶:次の画像へ

- [MENU/SET] を押すと強制的に終了できます。
- 確認中に途中で電源を切ったり、[MENU/SET]を押して強制終了した場合は、電源を入れるたびに[防水などの注意点]が表示されます。

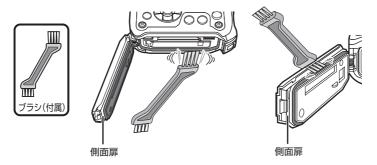
3 最終画像(12/12)を見終わったあとに、[MENU/SET] を押す

- 最終画像(12/12)を見終わったあとに、[MENU/SET]を押すと、次回から電源を入れたとき[防水などの注意点]は表示されません。
- セットアップメニューの[防水などの注意点](P37)からも、確認することができます。

水中で使用する前の確認

砂粒、ほこりの多いところや水辺、およびぬれた手で側面扉の開閉は行わないでください。砂やほこりが付着すると浸水の原因になります。

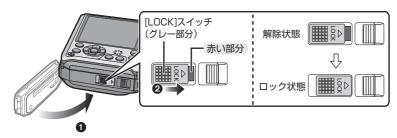
1 側面扉の内側に異物が付着していないか確認する

- 糸くずや髪の毛、砂粒などの異物が周りに付いていると、数秒で浸水して故障の原因になります。
- 液体が付着している場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。液体が付着した状態で使用すると、浸水して故障の原因になります。
- 異物が付着している場合は、付属のブラシで取り除いてください。
- ゴムパッキンの側面や四隅にも微小な砂粒などが付着することがありますので、特に気をつけて取り除いてください。
- 大きな異物や、水分を含んだ砂などは、ブラシの短い(硬い)側を使って取り除いてください。

(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について (つづき)

2 側面扉のゴムパッキンにひび割れや変形がないか確認する

- 本機のゴムパッキンの性能は、1年以上経過すると劣化します。最低でも1年に1回はお買い上げの販売店かお近くの修理ご相談窓口(P167)にご相談いただき、ゴムパッキンの交換(有料)をおすすめします。

3 側面扉を確実に閉じる

- [LOCK] スイッチの赤い部分が見えなくなるまで確実にロックしてください。
- 浸水を防ぐために、液体や砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないように、お気をつけください。

水中でのご使用について

- 水深12 m以内、水温0 ℃から40 ℃の範囲内の場所で使用してください。
- スキューバダイビング(アクアラング)では、使用しないでください。
- 水深12 m より深いところで使用しないでください。
- 40 ℃を超えるお湯(お風呂や温泉など)の中では、使用しないでください。
- 水中で60 分以上連続して使用しないでください。
- 側面扉の開け閉めをしないでください。
- 水中で本機に衝撃を与えないでください。(防水性能が保てず、浸水の可能性があります)
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。(強い水圧がかかり、故障の原因になることがあります)
- 本機は水中に沈みます。紛失させないため、ストラップを確実に装着するなどして、落とさないようにしてください。

水中で使用したあとのお手入れ

水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまでは、側面扉を開閉しないでください。
ご使用後は、必ずお手入れをしてください。

- 手、体や髪の毛などに付いた水滴、砂粒、塩分をよくふき取ってください。
- 水しぶきや砂がかかる恐れのある場所は避け、室内でのお手入れをおすすめします。

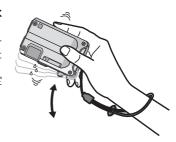
水中でのご使用後は、60分以上放置しないでください。

- 異物や塩分を付着したまま放置していると破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。

1　側面扉を閉じたまま水洗いをする

- 海辺や水中で使用した場合は、浅い容器にためた真水の中で 10 分程度つけ置きしてください。
- ズームボタンや電源ボタンが正常に動かないときは異物が付着している可能性があります。そのまま使用すると動かなくなるなど、故障の原因になりますので、真水につけてよくゆすり、異物を洗い流してください。
- 水につけた際、水抜き穴から泡が出ることがありますが、故障ではありません。

2　天面を下にして本機を持ち、軽く数回振って水を抜く

- 海辺や水中での使用後、水洗い後は本機のスピーカー部にしばらく水がたまり、音が小さくなったり、ひずんだりする場合があります。
- 落下防止のために、ストラップをしっかりと固定してください。

3　柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布の上に立てて置いて、乾かしてください。本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームボタンなどのすきまに入った水が外に出てきます。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変形により防水性能が劣化します。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤を使用しないでください。

4　水滴が付いていないことを確認してから、側面扉を開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないまま、側面扉を開けると水滴がカードやバッテリーに付着する場合があります。また、カード / バッテリー収納付近や端子付近の溝に水分がたまる場合があります。柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。
- ぬれたまま側面扉を閉じると、水滴が本機内部に侵入し、結露や故障の原因になります。

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2011年1月現在のものです。変更されることがあります。

☐
CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。

☐
ハンドストラップ
VFC4393

☐
バッテリーパック
DMW-BCF10
(本文中では**バッテリー**と表記します)
- 充電してからお使いください。

☐
ブラシ
VFC4588

☐
AVケーブル
K1HY08YY0018

☐
バッテリーチャージャー
DE-A59A
(本文中では**チャージャー**と表記します)

☐
USB接続ケーブル
K1HY08YY0017

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については130ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 付属品は防水仕様ではありません。(ハンドストラップを除く)
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前

GPS動作ランプ(P69)

セルフタイマーランプ(P51)/
AF補助光ランプ(P89)/
LEDライト(P93)

マイク

フラッシュ
発光部(P47)

レンズ部
(P6、140)

三脚取付部

[HDMI]端子
(P115、116)

[AV OUT/DIGITAL]端子
(P113、120、123、126)

液晶モニター
(P44、132)

GPSアンテナ(P68)

電源ボタン(P22)

シャッターボタン(P25、31)

動画ボタン(P29)

ストラップ取付部(P14)※1

ズームボタン(P45)

開閉レバー(P18)

[LOCK]スイッチ
(P10、18)

再生ボタン(P28)

スピーカー(P37)

[DISP.]ボタン(P44)

[MODE]ボタン(P24)

側面扉(P9、18)

[Q.MENU](P36)/
消去(P34)/戻るボタン

[MENU/SET]ボタン(P35)

カーソルボタン

▲(上)/
露出補正(P52)/
オートブラケット
(P53)

◀(左)/
セルフタイマー(P51)

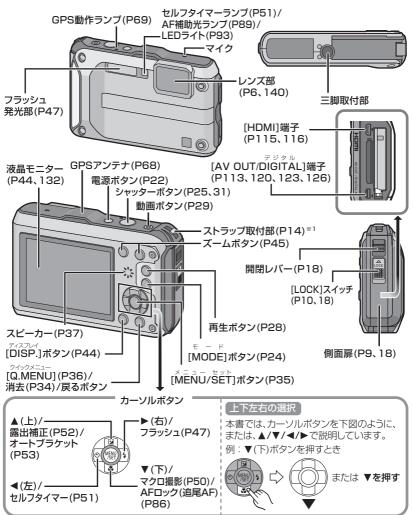
▶(右)/
フラッシュ(P47)

▼(下)/
マクロ撮影(P50)/
AFロック(追尾AF)
(P86)

上下左右の選択

本書では、カーソルボタンを下図のように、
または、▲/▼/◀/▶で説明しています。

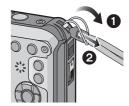
例：▼(下)ボタンを押すとき

または **▼を押す**

※1 **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**

※2 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とDCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。接続について、詳しくは19ページをお読みください。

ストラップを付ける

1 ストラップを本体のストラップ取付部にとおす

●ストラップのひもがゆるんでいると、側面扉開閉時、ひもが挟み込まれることがあります。破損や浸水の原因になりますので、側面扉にひもが挟み込まれていないことを確認して、しっかりと取り付けてください。

2 手を入れたあと、長さを調整する

お知らせ
- ストラップは必ず手順に従って正しく取り付けてください。
- 本機は水に沈みますので、水中での撮影時にはストラップに手をとおし、しっかり固定してお使いください。
- ストラップを取り付けたまま、本機を振り回したり、無理に引っ張ったりしないでください。ストラップのひもが切れる恐れがあります。
- 海辺や水辺で本機を使用する場合は、フローティングストラップ(別売:DMW-FST1)のご使用をおすすめします。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2011年1月現在)

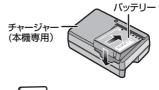
本機で使えるバッテリーはDMW-BCF10 です。

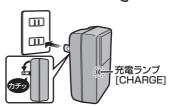
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BCF10)は、この機能に対応しています。(この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません)(P149)

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

- 充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

■ 充電ランプの表示について

[点灯]: 充電中は点灯します。

[消灯]: 充電が正しく完了すると、消灯します。

●点滅するときは

・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。

・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

バッテリーを充電する（つづき）

■ 充電時間について

充電時間	約130分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

お知らせ

- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）

使用時間と撮影枚数の目安

■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

写真記録

記録可能枚数	約310枚	条件はCIPA規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約155分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正[ON]設定時）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置
- GPS機能を使用しない

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]

動画撮影

	AVCHD（画質設定を[FSH]で撮影）	MOTION JPEG（画質設定を[HD]で撮影）
撮影可能時間	約100分	約110分
実撮影可能時間	約50分	約55分

- 温度23 ℃/湿度50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- ＧＰＳ機能を使用せずに撮影した場合の時間です。
- 実撮影可能時間とは、電源の入/切、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- [AVCHD]の[GFS]/[FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

再生

再生使用時間	約300 分

お知らせ

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  - ・スキー場や標高の高いところなどの寒冷地や低温下※
    ※ ご使用の際は、液晶モニターに残像が出る場合があります。またバッテリーの性能が低下するのでカメラや予備のバッテリーを防寒具、衣類の内側に入れるなどして保温しながらご使用ください。性能の低下したバッテリーや液晶モニターは常温に戻ると性能が回復します。
  - ・[液晶モード]使用時
  - ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返した場合
  - ・GPS機能が働いてる場合
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認する。
- **異物が付着していないことを確認する。**(P9)
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1

❶[LOCK]スイッチをスライドさせ、ロックを解除する

❷開閉レバーをスライドさせて、側面扉を開く

2

バッテリー：
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

3

側面扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じ、[LOCK]スイッチを[▶]側にスライドさせロックする

- 開閉レバーの赤い部分が見えなくなっていることを確認してください。

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。
- バッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

■ 浸水防止の警告メッセージ表示について

本機では防水性能を保つため、以下のことを行ったとき、警告音と共に側面扉の内側に異物の付着がないかの確認やお手入れを促すメッセージが表示されます。(P136)

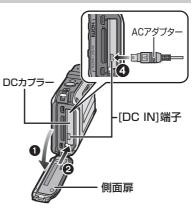
- 側面扉を開けてカードを入れ換えたあとに、電源を入れたとき。
- 側面扉を開けてバッテリーを入れ換えたあとに、再度電源を入れたとき。

お知らせ

- 側面扉を開放後は異物を挟み込まないよう、しっかりと閉じてください。
- 異物が付着している場合は、付属のブラシで取り除いてください。
- いずれかのボタンを押すと、強制的に警告メッセージ表示を消すことができます。

バッテリーの代わりにACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC4)は必ずセットでお買い求めください。ACアダプター(別売)は単独では使用できません。

1. 側面扉を開く
2. DCカプラーを向きに気をつけて入れる
3. ACアダプターを電源コンセントに差し込む
4. ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
   - 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

お知らせ

- ACアダプター接続時は側面扉を閉じることができません。
- 三脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- **ACアダプター接続時はケーブルや手の重みで側面扉に負荷をかけないようにしてください。破損の原因になります。**
- **ACアダプター接続時に、ケーブルが引っぱられるとDCカプラーが本機から抜け出る恐れがありますのでお気をつけください。**
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、130ページをお読みください。
- ACアダプター接続時は防水機能は働きません。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合:**
  カードで画像の記録・再生

内蔵メモリーの場合
IN ➔IN（アクセス表示※）
カードの場合
➔（アクセス表示※）
※アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P112)**
- **容量:約19 MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

<table>
<tr><th>本機で使えるカードの種類</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/
miniSDカード※1/microSDカード※1</td><td rowspan="3">● [AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。
● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。
● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。
● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
● 左記の容量以外のカードは使えません。</td></tr>
<tr><td>SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/
microSDHCカード※1</td></tr>
<tr><td>SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)</td></tr>
</table>

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
（例） CLASS4　CLASS6

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- **アクセス表示点灯中[画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など]は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC5)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P43)

書き込み禁止スイッチ

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

●記録可能枚数と時間は[DISP.]ボタンを数回押して確認できます。

記録可能枚数

記録可能時間

■ 記録可能枚数(写真:枚)

●残り枚数が 100000 枚以上の場合は、[＋99999] と表示されます。

●**画像横縦比 [4:3]、クオリティ[ ] の場合**

記録画素数	内蔵メモリー(約19 MB)	2 GB	4 GB	16 GB
12M	3	380	760	3120
5M(EZ)	5	650	1300	5300
0.3M(EZ)	100	10050	19940	81340

■ 記録可能時間(動画撮影時)

●**撮影モード [AVCHD] の場合**

画質設定	内蔵メモリー(約 19 MB)	2 GB	4 GB	16 GB
GFS	—	15分00秒	30分00秒	2時間00分
FSH	—	15分00秒	30分00秒	2時間00分
GS	—	15分00秒	30分00秒	2時間00分
SH	—	15分00秒	30分00秒	2時間00分

●**撮影モード [MOTION JPEG] の場合**

画質設定	内蔵メモリー(約 19 MB)	2 GB	4 GB	16 GB
HD	—	8分10秒	16分20秒	1時間7分
VGA	—	21分40秒	43分10秒	2時間56分
QVGA	35秒	1時間2分	2時間4分	8時間28分

●記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)

●被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

●[WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・時間が減少することがあります。

●[AVCHD]の[GFS]/[FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29 分59秒までです。

●[MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

準備

時計を設定する

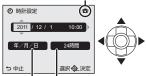
- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源ボタンを押す

- [防水などの注意点]が表示されます。防水性能を保つため、必ずご確認ください。開始前に[いいえ]を選ぶか、最終画像(12/12)を見終わったあとに [MENU/SET]を押すと [時計を設定してください] が表示されます。[防水などの注意点]デモについて詳しくは9ページをお読みください。

2 [MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定し、[MENU/SET]を押して決定する

- [🗑/↩]を押すと、時計を設定せずに中止することができます。

4 [MENU/SET]を押す

- 自動時刻補正の設定画面が表示されます。

5 自動で時刻を補正する場合は[はい]を選び、[MENU/SET] を押す

- [GPS設定](P68)が[ON]に設定され、現在時刻に自動的に補正されます。

6 メッセージ表示画面で[MENU/SET]を押す

7 ◀/▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET]を押す

時計設定を変更する

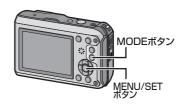
撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、[MENU/SET]を押してください。(P35)

- 手順**3**の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に24時間入れてください)**

お知らせ

- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや[日付焼き込み](P90)、[文字焼き込み](P103)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。
- **[GPS設定]を[ON]に設定していると、電源を切った状態でも、GPS機能が働きます。本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[GPS設定]を[OFF]または[GPS]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。**

撮影モードを選ぶ

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ でモードを選ぶ

3 [MENU/SET] を押す

撮影モード一覧

モード	参照
通常撮影モード お好みの設定で撮影します。	P25
インテリジェントオートモード カメラにおまかせで撮影します。	P31
スポーツモード 動きの速い場面に最適なモードです。	P54
雪モード スキー場や雪山などの雪を白く出すように撮影します。	P54
ビーチ&シュノーケリングモード 水中とビーチでの撮影に最適です。	P55
水中モード マリンケース(別売:DMW-MCFT3)を使って、水深12 m以上での撮影に最適です。	P56
SCN シーンモード 撮影シーンに合わせて撮影します。	P57
3D スライド3D撮影モード 3D写真を撮影します。	P63

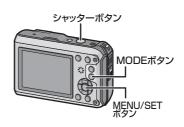
お知らせ

- 再生モードから撮影モードに切り換えたときは、前回設定した撮影モードになります。

お好みの設定で撮る（[カメラ]：通常撮影モード）

撮影モード：[カメラ]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で [通常撮影] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

4 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。（フラッシュ発光時を除く）

5 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

基本

お好みの設定で撮る（[通常撮影モードアイコン]：通常撮影モード）（つづき）

撮影モード：[通常撮影モードアイコン]

本機の構えかた

- **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**
- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光/LEDライトを指などでふさがないでください。
- 動画撮影時、マイクを指でふさがないようにお気をつけください。
- レンズ部には触らないでください。(P148)

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P43)設定時)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[手ブレ警告アイコン]が表示されたときは、手ブレ補正(P90)、三脚、セルフタイマー(P51)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]/[ハイダイナミック]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

● デジタルズーム時や暗いとき、AFエリアは大きく表示されます。

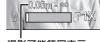
フォーカス表示

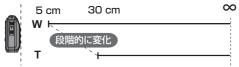
AFエリア

■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

● シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

撮影可能範囲表示

例)インテリジェントオートモード時のピントの合う範囲

レンズの先端

■ ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順**1**の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/
ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

基本

写真を見る（通常再生）

再生モード：[▶]

[▶]を押す

- [▶]長押しで電源を入れると自動的に通常再生されます。

お知らせ

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

画像を送る

◀ または ▶ を押す

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- ◀/▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームボタンのWを押す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨
カレンダー検索

- ズームボタンのTを押すと、1つ前に戻ります。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームボタンのTを押す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、ズームボタンのWを押すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶ で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

動画を撮る

撮影モード：[iA][○][スポーツ][赤ちゃん][ペット][水中][SCN]

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。音声はモノラルで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- [撮影モード]および[画質設定]の設定については、91 ページをお読みください。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。
- 水中では雑音が記録される場合があります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示]（P39）を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC4）の使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- マイク、スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったり、聞き取りにくくなることがあります。水滴をふき取り、しばらく乾燥させてからお使いください。（P148）
- 一部のシーンモードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれのシーンに合った動画を撮影できます。

選択されているシーンモード	動画撮影時のシーンモード
[赤ちゃん 1]、[赤ちゃん2]	人物モード
[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]	ローライトモード
[パノラマアシスト]、[ペット]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[花火]、[フォトフレーム]	通常動画

- スポーツモードでは、通常の動画撮影になります。

動画を見る

再生モード：▶

● 本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHDまたはQuickTime Motion JPEGです。
● 本機で再生できるAVCHD形式の動画は、本機で撮影した[AVCHD]動画および、当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影したAVCHD形式（[AVCHD Lite]を含む）の動画のみです。

◀/▶で動画アイコン（[QVGA]/[FSH]など）が付いた画像を選び、▲を押して再生する

● 再生を開始すると、再生経過時間が表示されます。
例）8分30秒のとき：8m30s
● [AVCHD] で撮影した動画は、一部の情報（撮影情報など）が表示されません。

動画アイコン

動画記録時間

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

▲	再生 / 一時停止	
▼	停止	
◀	早戻し/コマ戻し※	
▶	早送り/コマ送り※	
[W]	音量下げる	W
[T]	音量上げる	T

※一時停止中のみ操作できます。

● **早送り / 早戻し再生について**
・再生中に▶を押すと早送り再生（◀を押すと早戻し再生）になります。もう一度▶/◀を押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。（画面表示が▶▶から▶▶▶に変わります）
・▲を押すと、通常再生に戻ります。
・大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

お知らせ

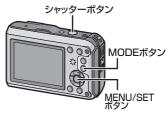
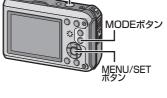
● 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
● 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/クイックAF/暗部補正/デジタル赤目補正/逆光補正/超解像/iAズーム/オートホワイトバランス/AF補助光/アクティブモード/AF連続動作
- 画質は[▪▴▪]に固定されます。

1 [MODE]を押す

2 ▲/▼/◀/▶で[インテリジェントオート]を選び、[MENU/SET]を押す

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ▲を押すと、追尾AFを設定できます。詳しくは、86ページをお読みください。
（もう一度▲を押すと、追尾AFは解除されます）
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。（P27）

基本

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

設定を変更する

インテリジェントオートモードでは以下のメニューを設定できます。

メニュー	項目
撮影	[記録画素数]※/[連写]/[カラーモード]※/[ブレピタモード]/[個人認証]
動画	[撮影モード]/[画質設定]/[LEDライト]
GPS/センサー	[GPS 設定]/[測位更新]/[GPS 地名変更]/[地名表示設定]/[マイランドマーク登録]/[高度計調整]/[方位計調整]
セットアップ	[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音] ※ /[手ブレ補正デモ]

- メニューの設定方法については35ページをお読みください。

※他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

- **インテリジェントオートモード独自のメニューについて**
  - ・[カラーモード] で [Happy] の色彩効果を設定できます。自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。
  - ・[ブレピタモード]を[ON]に設定すると、撮影画面に[((👤))]が表示されます。被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。（その際、画素数が減少する場合があります）

■ フラッシュについて

- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]、[i⚡S◎]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

i人物	i風景	iマクロ
i夜景&人物 ・[i⚡A]選択時のみ	i夜景	i夕焼け
i赤ちゃん※		

動画撮影時

i人物	i風景	iローライト	iマクロ

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大 8 秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。

※ [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/水中/手ブレが発生した場合/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- 水中では顔の検知が遅くなる、または検知しない場合があります。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

画像を消去する

再生モード：▶

画像は一度消去すると元に戻すことができません。
- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1枚消去

消去する画像を選び、[🗑/↩]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(50枚まで)/全画像消去

1 [🗑/↩]を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]を押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[★以外全消去]を選択するとお気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISP.]で設定する(繰り返す)
- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

お知らせ
- 消去中は電源を切らないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)および DCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

メニューの設定方法

1 [MENU/SET] を押す

2 ▲/▼◀/▶ でメニューを選び、[MENU/SET] を押す

メニュー	内容
撮影(P80～90) (撮影モードのみ)	色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
動画(P91 ～ 93) (撮影モードのみ)	撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
GPS/センサー (P68 ～76)	高度計、水深計などを調整したり、GPS機能を使って、現在位置情報を表示したりできます。
再生(P100～112) (再生モードのみ)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。
セットアップ (P37～43)	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 セットアップメニューは撮影モード時、再生モード時のどちらからでも設定できます。

メニューを使って設定する（つづき）

3 ▲/▼ でメニュー項目を選び、[MENU/SET] を押す

- 一番下まで移動すると、次のページに切り換わります。（ズームボタンを押しても切り換わります）
- 右図の画面は、撮影メニューで[オートフォーカスモード]を選ぶ例です。

4 ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] を押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。
- 右図の画面は、[オートフォーカスモード] を[■]（1 点）から[顔]（顔認識）に設定する例です。

■ メニューを終了する

[削除/戻る] を数回押す、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

- 本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードによっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、[Q.MENU] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で項目と設定内容を選び、[MENU/SET] を押して終了する

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

セットアップメニューの設定方法はP35へ

項目	設定・お知らせ
防水などの注意点 防水性能を保つため、事前にご確認していただきたいことを表示します。	●詳しくは、9ページをお読みください。
時計設定	●詳しくは、22ページをお読みください。
自動時刻合わせ GPS機能を使って、自動で時刻を更新します。	[ON] [OFF] ●詳しくは、73ページをお読みください。
ワールドタイム	[**旅行先**]：旅行先の地域 [**ホーム**]：お住まいの地域 ●詳しくは、79ページをお読みください。
トラベル日付	[**トラベル日付設定**]： [**設定**] [OFF] [**旅行先**]： [**設定**] [OFF] ●詳しくは、77ページをお読みください。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[**操作音音量**]： [ ]：小 [ ]：大 [ ]：なし [**シャッター音音量**]： [ ]：小 [ ]：大 [ ]：なし [**操作音音色**]： [❶] [❷] [❸] [**シャッター音音色**]： [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	●テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
液晶モード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	[(オートパワーLCD)] ※: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [(パワーLCD)]: 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [OFF] ※撮影モード時のみ設定できます。 ● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ● [液晶モード]設定 時は記録可能枚数が減少します。
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報をあわせて表示するかしないかを設定します。(P44)	[撮影情報]: [ON] [OFF] [パターン]: [ ] [ ] ● 被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。 ● インテリジェントオートモード時、[パターン]は[ ]に固定されます。 ● シーンモードの[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。

項目	設定・お知らせ
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[ON] [OFF] ●ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。 暗い ← 適正 → 明るい ●**フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** ●撮影時のヒストグラムは目安です。 ●撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。 ●パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。 ●以下の場合、ヒストグラムは表示されません ・インテリジェントオートモード　・マルチ再生 ・動画撮影時　・再生ズーム ・シーンモードの[フォトフレーム]・カレンダー検索 ・HDMIマイクロケーブル接続時
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	[ON] [OFF] ●動画記録枠表示は目安です。 ●記録画素数の設定によっては、T 側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ●インテリジェントオートモード時は[OFF]に固定されます。

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
ECOエコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、液晶モニターを暗くすることでバッテリーの消耗を防ぎます。	**[自動電源OFF]**：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [2分] [5分] [10分] [OFF] **[液晶パワーセーブ]**：液晶モニターの輝度を下げます。撮影中※はさらに液晶モニターの画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。 ※デジタルズーム領域は除く。 [ON] [OFF] ● インテリジェントオートモード時は、[自動電源OFF]は[5分]に固定されます。 ● 以下の場合、[自動電源OFF]は働きません。 ・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時 ・動画撮影 / 動画再生時　・スライドショー時 ・自動デモ ● デジタルズーム領域では光学ズーム領域と比べて、[液晶パワーセーブ]の効果が低減します。 ● [液晶パワーセーブ]の効果は、撮影される画像には影響しません。 ● 液晶モニターの輝度は[液晶パワーセーブ]よりも[液晶モード]の設定が優先されます。
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	**[1秒]** **[2秒]** **[ホールド]**：ボタンを押すまで表示 **[OFF]** ● オートブラケット撮影、シーンモードの[手持ち夜景]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、撮影メニューの[連写]時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 ● インテリジェントオートモードまたはシーンモードの[フォトフレーム]時は[2秒]に固定されます。 ● 動画撮影では働きません。

セットアップメニューの設定方法はP35へ

項目	設定・お知らせ
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P43)することをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ● 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・GPS/センサーメニュー ・[トラベル日付]の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム]の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	**[接続時に選択]**: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 **[PictBridge(PTP)]**: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 **[PC]**: パソコンに接続する場合に設定します。

基本

セットアップメニューを使う（つづき）

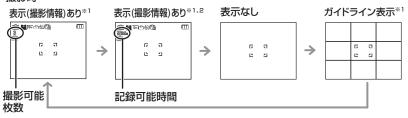
項目	設定・お知らせ
映像出力 テレビの種類に合わせて設定します。 （再生モードのみ）	[TV画面タイプ]: [16:9]:　画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]:　画面が4:3のテレビと接続時 ● AVケーブル接続時に働きます。
ビエラリンク 本機とHDMIマイクロケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[ON]:　ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。（すべての操作はできません）本機のボタンでの操作は制限されます。 [OFF]:　本機のボタンでの操作になります。 ● HDMIマイクロケーブル（別売）接続時に働きます。 ● 詳しくは、116ページをお読みください。
3D テレビ出力 3D写真の出力方法を設定します。	[3D]:　3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [2D]:　3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。3D対応テレビで2D（従来の画像）再生したい場合も、この設定にしてください。 ● HDMIマイクロケーブル（別売）接続時に働きます。 ● 3D写真を3Dで再生する方法については、118ページをお読みください。

項目	設定・お知らせ
回転表示 本機を縦に構えて撮影した画像を縦向きに表示させることができます。 （再生モードのみ）	[ ]: 回転して縦向きに表示します。 [ ]: テレビに接続して再生するときのみ、縦向きに表示します。 [OFF] ● 画像を再生する方法については、28ページをお読みください。 ● パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです] ● 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。 ● マルチ再生時は、回転表示されません。
Ver. バージョン表示	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（初期化）します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC4）を使用し、フォーマット中は電源を切らないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
DEMO デモモード [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**：カメラが感知した手ブレ量を表示 **[自動デモ]**： [ON]：本機の特長をスライドショーで表示 [OFF] ● [手ブレ補正デモ]中に[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 ● [手ブレ補正デモ]は目安です。 ● 再生モード時でも[自動デモ]はテレビ出力されません。 ● [自動デモ]を終了する場合は、[MENU/SET]を押してください。 手ブレ補正デモ / 手ブレ量 / 手ブレ補正 ON / 終了 / 手ブレ補正 / 補正後の手ブレ量

液晶モニターの表示を切り換える

[DISP.] を押して切り換える

● メニュー画面表示時は[DISP.]は働きません。
再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1 セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※2 [GPS設定]を[ON]または[GPS]に設定時、[DISP.]を押すと方位計、高度計、気圧計で計測された環境情報が表示されます。
※3 [DISP.]を押すと個人認証で登録された人物の名前が表示されます。

ズームを使って撮る

撮影モード：iA 📷 🏃 ⛄ 🌅 🐟 SCN

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大9.1倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9/1:1)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。

広く撮るには(広角)
ズームボタンのWを押す

大きく撮るには(望遠)
ズームボタンのTを押す

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	4.6倍	9.1倍※
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ付きの記録画素数(P80)を選ぶ
画面表示	W T	EZ W T EZを表示

種類	iAズーム	デジタルズーム
最大倍率	光学ズームまたはEX光学ズームの約1.3倍	光学ズーム、EX光学ズームまたはiAズームの４倍
画質	ほとんど劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの[超解像](P88)を [iA.ZOOM]に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム](P88)を[ON]に設定する
画面表示	iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T iA ZOOM を表示	W T EZ W T iA ZOOM W T EZ iA ZOOM W T デジタルズーム領域を表示

● **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例：0.3 m－∞)**

※　記録画素数や画像横縦比により変わります。

撮影

ズームを使って撮る（つづき）

撮影モード：

お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。光学ズームより望遠効果の高い写真が撮影できます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P51)を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、iAズームは使えません。
  ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  ・ズームマクロ撮影時
  ・シーンモードの[手持ち夜景]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  ・ズームマクロ撮影時
  ・シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  ・動画撮影時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  ・インテリジェントオートモード
  ・シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]

フラッシュを使って撮る

撮影モード: [iA] [通常撮影] [スポーツ] [スノー] [ビーチ&シュノーケル] [水中] [SCN]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶(⚡)を押す

2 ▲/▼でモードを選び、[MENU/SET]を押す

項目	内容
⚡A: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎ :赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ●**暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡: 強制発光 ⚡◎ :赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ●**逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S◎ : 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ●**夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊛: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ●**フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※ フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード: iA SCN

■ デジタル赤目補正について

[デジタル赤目補正]（P89）を[ON]に設定し、赤目軽減（[⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。（[オートフォーカスモード] が[顔]で顔認識しているときのみ）

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [ON]に設定すると、アイコンに[ ] が表示されます。
- インテリジェントオートモード時は[ON]に固定されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	⊘
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	○	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	◎	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	○	◎	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	⊘
	×	×	×	○	○	◎
1	○	◎	○	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	○	◎
	◎	○	○	×	×	○
3D	×	×	×	×	×	○

※[i⚡A]と表示されます。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を切っても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ フラッシュ撮影可能範囲

	W端時	T端時
ISO感度[AUTO]設定時	約30 cm～約5.6 m	約30 cm～約 3.1 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60～1/1300秒※1
⚡A◎	
⚡	
⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1～1/1300秒※1 1～または1/4～1/1300秒※2
⊘	

※1[下限シャッター速度]設定によって変わります。

※2[下限シャッター速度]設定で[AUTO]選択時

- ※2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- スポーツモード、雪モード、ビーチ&シュノーケリングモード、シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写]やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

近づいて撮る（AF マクロ撮影/ズームマクロ撮影）

撮影モード：[カメラ] [3D]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 ▼（[マクロ]）を押す

2 ▲/▼ でモードを選び、[MENU/SET] を押す

項目	内容
[AF[マクロ]]（AFマクロ）	花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。 ●AFマクロ撮影時は[AF[マクロ]]が表示されます。
[[ズームマクロ]]（ズームマクロ）	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離（5 cm）のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 ●通常撮影時よりも画質が劣化します。 ●ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。 ●ズームマクロ撮影時は [[ズームマクロ]]が表示されます。
[OFF]	—

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[[発光禁止]]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- 以下の場合、ズームマクロ撮影できません。
  - ・スライド3D撮影モード時
  - ・[オートフォーカスモード]の[[追尾]]設定時

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード：[iA][●][スポーツ][スノー][ビーチ＆シュノーケリング][SCN]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 ◀(セルフタイマー)を押す

2 ▲/▼で時間を選び、[MENU/SET]を押す

項目	内容
[セルフタイマー10]	10秒後に撮影します。 ●シーンモードの[自分撮り]時は、10秒に設定できません。
[セルフタイマー2]	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
[OFF]	—

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

●セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。

お知らせ

●一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
●セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
●以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
・シーンモードの[高速連写]
・動画撮影時

露出を補正して撮る

撮影モード:

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー		適正露出		露出オーバー
	露出をプラス方向に補正してください。		露出をマイナス方向に補正してください。	

1 ▲( )を押し、[露出補正]を表示させ、◀/▶で露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、"0 EV"を選んでください。

2 [MENU/SET]を押す

- 露出補正値は、画面に表示されます。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 設定した露出補正量は、電源を切っても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード：[撮影モードアイコン] SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

１回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に３枚撮影します。露出が異なる３枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目

±0EV

2枚目

−1EV

3枚目

＋1EV

1 ▲( )を数回押し、[オートブラケット]を表示させ、◀/▶で露出の補正幅を設定する

- オートブラケット撮影をしない場合は、"0"(OFF)を選んでください。

2 [MENU/SET]を押す

お知らせ

- オートブラケットを設定すると、画面に[ ]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- 以下の場合、オートブラケットの設定はできません。
  - ・シーンモードの[変身]、[パノラマアシスト]、[手持ち夜景]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影時

撮影

アウトドアシーンを表情豊かに撮る

撮影モード：

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影モードを[ ]、[ ]、[ ]、[ ]に設定するとスポーツ、雪、ビーチ&シュノーケリングなどの撮影状況に合わせてより効果的な撮影ができます。

お知らせ

- 用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[暗部補正]、[下限シャッター速度]、[超解像]、[カラーモード]、[デジタル赤目補正]の設定はできません。

スポーツモード

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

お知らせ

- シャッタースピードは最大１秒になります。
- ５ m以上離れた被写体の撮影に適しています。

雪モード

スキー場や雪山などの雪を白く出すように撮影できます。

お知らせ

- （重要）浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、側面扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ８ ページの「（重要）本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。

ビーチ&シュノーケリングモード

水中とビーチでの撮影に最適です。水深計が自動的に作動して、水中でどのくらいの深さまで潜ったかの目安になります。
水中に潜る前に、必ず GPS/センサーメニューの [水深計調整] を実行してください。

1 [MENU/SET] を押す

2 ▲/▼/◄/► で GPS/センサーメニューを選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で [水深計調整] を選び、[MENU/SET] を押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと水深計がゼロメートルにリセットされます。実行後はメニューを終了してください。

■ 水中での画面表示について

[DISP.] を数回押すと、水深計などの環境情報画面が表示されます。
- 水深計が12 mまでの水深を3段階で表示します。

3段階目が点滅する	本機の潜水可能な水深12 mまでの地点に近づきつつあります。お気をつけください。
水深計全体が点滅する	水深12 mを超えたおそれがあります。

- 水深情報から、カメラが自動で水中に最適な画質に調整します。その際、画質を示すアイコンが切り換わります。

[ ]	表示中は水深約3 mまでの水中に最適な画質に調整します。
[ ]	表示中は水深約3 m～12 mまでの水中に最適な画質に調整します。

ホワイトバランス微調整について
水深や天候に応じて、色合いを調整することができます。詳しくは84ページの「ホワイトバランス微調整」をお読みください。

お知らせ
- 本機の正面や背面を手で押さえるなどして、圧力がかかると、計測された水深に誤差が出る場合があります。その際は、水上に上がり再度、[水深計調整] を実行することをおすすめします。
- 気象条件(大気圧、大気の温度)や海水温度により、表示の誤差が大きくなる場合があります。
- より正確に水深を計測するために、水中に潜る直前に[水深計調整]を実行することをおすすめします。
- 水中から上がった直後など、本機が濡れた状態では、気圧を正確に計測できない場合があります。詳しくは 76 ページの「計測される高度と気圧について」をお読みください。
- (重要)浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、側面扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ8 ページの「(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。
- ご使用後は、浅い容器にためた真水の中で10分程度つけ置きしたあと、柔らかい乾いた布でふき取ってください。(P10)

アウトドアシーンを表情豊かに撮る（つづき）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

水中モード

マリンケース（別売：DMW-MCFT3）を使って、水深12 m 以上での撮影に最適です。
※本機は、JIS 保護等級 IP68相当の防水 / 防じん性能があります。水深 12 m/60 分までの撮影が可能です。

ピントを固定するには（AFロック）

AFロックを使うと、あらかじめピントを固定して撮影することができます。動きの速い被写体を撮影するときなどに便利です。

1　被写体にAFエリアを合わせる

2　◀を押し、ピントを固定する

- ピントが合ったあと、AFロックアイコンが表示されます。
- もう一度◀を押すと、AFロックは解除されます。
- AFロック後にズーム操作を行った場合は、AFロックは解除されますので、再度AFロックをやり直してください。
- [オートフォーカスモード] を [] に設定している場合は、AFロックを設定できません。

ホワイトバランス微調整について

水深や天候に応じて、色合いを調整することができます。詳しくは84ページの「ホワイトバランス微調整」をお読みください。

お知らせ

- 浸水を防ぐために、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにし、側面扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じてください。また、あらかじめ「（重要）本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」（P8）をお読みください。
- ご使用後は、浅い容器にためた真水の中で10分程度つけ置きしたあと、柔らかい乾いた布でふき取ってください。（P10）
- **水中ではGPSの電波が届かないため、測位できません。**
- **方位計、高度計（水深計）、気圧計は使用できません。**

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で [シーンモード] を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼/◀/▶ でシーンモードを選び [MENU/SET] を押す

- ズームボタンを押すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET] を押して ▲/▼/◀/▶ で [シーンモード] を選び、[MENU/SET] を押して、上記手順**3**に戻ります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[暗部補正]、[下限シャッター速度]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。(胸から上を撮りたいときに効果的です)	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ● 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
変身 スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。	**変身レベル設定** 変身のレベルを選択します。 ● 公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。

撮影

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ● シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ● セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	—
パノラマアシスト パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。	**撮影する方向の設定** **1 ▲/▼で撮影する方向を選び、[MENU/SET]を押す** ● 水平 / 垂直ガイドが表示されます。 **2 撮影する** ● [撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。 **3 ▲で[次の撮影]を選び、[MENU/SET]を押す** ● 撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。 **4 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する** ● 3枚目以降を撮影するときは、手順**3**、**4**を繰り返してください。 **5 ▲/▼で[完了]を選び、[MENU/SET]を押す** ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ● 三脚の使用をおすすめします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパノラマ画像に合成することができます。

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)** ● 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
手持ち夜景 夜景を高速連写で撮影し、合成します。手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● **画像を連写撮影し、1枚の画像に合成します。** ● 連写中は本機を動かさないでください。 ● 暗い場面で撮影したり、動いている被写体を撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	—
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]または[ ]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大1秒になります。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定･お知らせ
赤ちゃん1/ 赤ちゃん2 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P103)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1** **▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、[MENU/SET]を押す** **2** **▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す** **3** **誕生日/名前を入力する** 誕生日：◀/▶：項目(年･月･日)選択、 ▲/▼：設定、 [MENU/SET]：決定 名前：文字入力の方法については94ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 **4** **▼で[終了]を選び、[MENU/SET]を押して終了する** **月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには** 手順**2**で[OFF]に設定してください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。 ● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 ● シャッタースピードは最大1秒になります。
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。	[月齢/年齢]、[名前]については、上記[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	ー
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。	**記録画素数･画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。

項目	設定・お知らせ
高速連写 高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 最高連写速度: 約 10 コマ/秒([速度優先] 選択時) 約 7 コマ/秒([画質優先] 選択時) 連写コマ数: 約 15 コマ(内蔵メモリー)、 約 15 コマ~ 100コマ※(カード) ※最大 100 コマとなります。 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● 連写コマ数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。 ● 書き込み速度の速いカードを使用したり、カードをフォーマットしたりすると、連写コマ数が増加する場合があります。 ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1コマ目の設定に固定されます。 ● [ISO感度]は、自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。 ● 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
フラッシュ連写 フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ● シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 連写コマ数:最大5コマ ● ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1コマ目の設定に固定されます。 ● セルフタイマー使用時、撮影コマ数は5コマに固定されます。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。 ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。 カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 **撮影のテクニック** ● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

撮影

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

項目	設定･お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 ● 被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ● シャッタースピードは 1/4秒または2秒に固定されます。 ● 露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。 ● AFエリアは表示されません。
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。
ピンホール 被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。	● 画面周辺の暗い部分では、顔認識機能が正常に働かない場合があります。
サンドブラスト 砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。	―
ハイダイナミック 逆光の風景や夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真を簡単に撮影することができます。	**効果の設定** **[STD.]**：自然な色合いの効果 **[ART]**：コントラストと色を強調した印象的な効果 **[B&W]**：白黒の効果 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ● 暗いときは、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。
フォトフレーム 画像にフレームをつけて撮影します。	**フレームの設定** 3 種類のフレームから選択します。 ● 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。

3D写真を撮る（3D: スライド3D撮影モード）

撮影モード : 3D

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

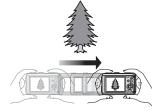
カメラを水平に動かしている間に連続撮影をして、1 枚の3D写真を合成します。
3D写真を見るには3D対応テレビが必要です（本機では2Dで再生されます）。
再生方法について、詳しくは 118 ページをお読みください。

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で [スライド3D撮影] を選び、[MENU/SET] を押す

- 撮影方法の説明が表示されます。

3 撮影を開始し、本機を左から右へまっすぐ水平にスライドする

- 撮影中はガイドが表示されます。
- ガイドを目安にして約4秒間で10 cm程度カメラをスライドしてください。

撮影のテクニック

・動きのない被写体を撮影する
・屋外などの明るい場所で撮影する
・シャッターボタンを半押しして、ピント･露出を固定してから、シャッターボタンを全押ししてカメラをスライドする
・被写体を中心よりやや右寄りに合わせて撮影を始めると、被写体が中心に寄りやすくなります

お知らせ

- **3D写真の縦撮影には対応していません。**
- 3D写真はMPO形式（3D）で保存されます。
- ズーム位置はW端に固定されます。
- 記録画素数は2M（16:9）に固定されます。
- [ISO感度] は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
- スライド3D撮影モード時は動画撮影できません。
- 以下の場合など、撮影状況によっては撮影できない場合があります。また撮影できても、写真に立体効果が得られなかったり、ゆがみが生じたりする場合があります。
  ・被写体が暗すぎる / 明るすぎる
  ・被写体の明るさが変わる
  ・被写体が動いている
  ・濃淡の少ないもの

個人認証機能を使って撮る

撮影モード：[iA][●][スポーツ][キッズ][風景][SCN]

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

  撮影時
  - ・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
    （名前を設定している場合）

  再生時
  - ・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）
  - ・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー選択]（絞り込み再生）(P98)）

  ※ 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 以下のシーンモードで、[個人認証]を使用できます。
  - ・[人物]/[美肌]/[自分撮り]/[風景]/[夜景&人物]/[パーティー]/[キャンドル]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]/[夕焼け]/[高感度]/[ピンホール]/[ハイダイナミック]/[フォトフレーム]
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 動画撮影時は[OFF]に固定されます。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合（P67）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
  例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（P111）を行ってください。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(一登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P66)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

個人認証機能を使って撮る（つづき）

撮影モード:

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

新規登録

1 撮影メニューから［個人認証］を選び、[MENU/SET] を押す（P35）

2 ▲/▼ で［登録］を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼/◄/► で未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] を押す

- すでに6人登録されているときは、［新規登録］が表示されません。追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- [DISP.] を押すと、顔登録撮影の説明が表示されます。
- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。

5 ▲/▼ で編集項目を選び、[MENU/SET] を押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。
1 ▼で［設定］を選び、[MENU/SET] を押す
2 名前を入力する
● 文字入力の方法については、94ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。
1 ▼で［設定］を選び、[MENU/SET] を押す
2 ◄/► で項目（年・月・日）を選んで▲/▼ で設定し、[MENU/SET] を押す</td></tr>
<tr><td>フォーカスアイコン</td><td colspan="2">ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。
▲/▼ でフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET] を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。
1 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] を押す
2 「新規登録」の手順4を行う</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を一枚消去します。
◄/► で解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] を押す
● 画像が１枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

- 設定後はメニューを終了してください。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1 撮影メニューから［個人認証］を選び、[MENU/SET] を押す（P35）
2 ▼で［登録］を選び、[MENU/SET] を押す
3 ▲/▼/◀/▶ で編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] を押す
4 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 **「新規登録」の手順5を行う**
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 **▲/▼/◀/▶ で登録順を選び、[MENU/SET] を押す**
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

● 設定後はメニューを終了してください。

GPS機能を使って撮影する

撮影モード：[iA][○][スポーツ][ベビー][ペット][夕焼け][SCN][3D]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ GPSについて

グローバル･ポジショニング･システム（Global Positioning System）の略で、GPS衛星を利用して自分の位置を確認することができるシステムです。
複数のGPS衛星から軌道情報と時刻情報を含む電波を受信して現在位置を計算することを「測位」といいます。
本機は、3 つ以上の GPS 衛星からの電波を受信できた場合、測位できます。

■ GPS衛星から電波を受信するには

- 屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナを上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをおすすめします。
- 次のような場所では、GPS衛星からの電波が正しく受信できないため、測位できなかったり、大きな誤差が発生する場合があります。
  - ・屋内/地下や水中（マリンケース使用時）/ 森の中 / 電車や車などで移動中/ ビルの近くや谷間/高圧電線の近く/トンネルの中/1.5 GHz 帯の携帯電話などの近く
- GPSアンテナを手などで覆わないでください。
- 測位中に本機を持ち運ぶときは、金属製のかばんなどに入れないでください。金属などで覆われると測位できません。
- 以下のメニューが設定できます。

メニュー	項目
GPS/センサー	[GPS 設定]/[測位更新]/[GPS 地名変更]/[地名表示設定]/[マイランドマーク登録]/[高度計調整]/[水深計調整]※/[方位計調整]

※ビーチ & シュノーケリングモード（P55）時のみ設定できます。

GPS情報を取得する

GPS機能を起動すると測位が開始され、取得した地名情報などを撮影した画像に記録することができます。

1 GPS/センサーメニューから[GPS設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[ON]または[✈GPS]を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定
[ON]	● GPSを起動し電波を受信状態にします。 ● [ON]に設定しておくと電源を切った状態でも継続して測位します。
[✈GPS]	● 電源を入れている間のみ、測位します。 ● 電源が切れている間は測位しません。
[OFF]	—
[情報]	● GPS 情報の確認や更新ができます。 ● 詳しくは 70 ページの「GPS 情報を更新する」をお読みください。

- 設定後はメニューを終了してください。

GPS/センサーメニューの設定方法はP35へ

お知らせ

- 初めて測位するときや、[GPS設定]を[ ]または[OFF]にして電源を切り、再び電源を入れ測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約２～３分かかる場合があります。
- [GPS設定]を[ON]に設定していると、電源を切った状態でも、GPS機能が働きます。本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[GPS設定]を[OFF]または[ ]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。
- 測位中はGPS動作ランプが点灯します。また電源を切った状態でGPS動作ランプが点灯するときは[GPS設定]が[ON]になっています。

GPS動作ランプ

■ GPS情報表示画面について

- GPSを起動すると撮影画面に測位状況を示すアイコンが表示されます。

測位状況を示すアイコン	測位成功後の経過時間
[ ]	5分以内
[ ]	5分前～1時間前
[ ]	1時間前～2時間前
[ ]	2時間以上前
[ ]	測位できなかった場合

地名情報

- 測位に成功すると画面に地名情報が表示されます。表示された地名情報は本機に記憶されます。
- 本機に記憶された現在位置情報は以下の場合、消去されます。
  - ・[GPS 設定]を[OFF]にした場合
  - ・[GPS設定]を[ ]に設定して電源を切った場合
  - ・[設定リセット]でセットアップ設定をリセットした場合

■ 撮影した画像に記録されるGPS情報について

測位に成功後、撮影した写真や[MOTION JPEG]または[AVCHD]の[GFS]/[GS]で撮影した動画※に、以下の情報が記録されます。

- ・緯度/経度
- ・地名情報（国/地域、県/州、市区/郡、町/村、ランドマーク）

※ 撮影開始時のGPS情報のみ記録されます。

地名情報は測位した緯度/経度をもとに本機のデータベースから地名やランドマークが検索され、現在位置に対して有効な情報を表示します。（最短距離にあるものを表示しない場合があります）

- 測位に成功しても現在地に対して有効な情報がない場合は、[---]と表示されます。
- 地名情報が[---]と表示されても[GPS地名変更]（P71）で地名情報を選択できる場合があります。
- 希望のランドマークが登録されていない場合があります。地名情報は2010年12月現在のものです。ランドマークの種類について詳しくは155ページの「ランドマークの種類」をお読みください。
- 地名情報（地名やランドマーク名）は正式な名称とは異なる場合があります。

撮影

GPS機能を使って撮影する（つづき）

撮影モード：

GPS情報を更新する

表示されている地名情報と現在位置が異なっていたり、測位が成功しにくい場合は、GPS衛星の電波を受信しやすい場所に移動して測位更新を行ってください。

GPS/センサーメニューから[測位更新]を選び、[MENU/SET]を押す

測位中を示すアイコン

- 測位が開始され、成功すると現在位置の最新情報に更新されます。
- クイックメニュー(P36)から[GPS]または[GPS]を選び、[MENU/SET]を押すと、情報確認画面をスキップして測位更新できます。

■ GPSの受信状態を確認する

1 [GPS設定](P68)から[情報]を選び、[MENU/SET]を押す

- 最後に更新された測位結果が表示されます。

	測位した時刻
	受信したGPS衛星の数
GPS	緯度 経度

2 情報確認画面で[MENU/SET]を押す

- 測位が開始され、成功すると現在位置の最新情報に更新されます。

■ 測位の時間間隔について

- [測位更新]を実行しなくても、電源を入れた直後、および一定の時間間隔で自動で測位を試みます。([GPS設定]が[OFF]以外の場合)
- [GPS設定]を[ON]に設定して、電源を切った状態でも一定の時間間隔で測位を試みます。
- 電源を切った状態での測位は以下の場合、中断されます。
  - ・バッテリー残量が[ ]になった場合
  - ・一定時間、電源を入れなかった場合

GPS/センサーメニューの設定方法はP35へ

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

記録する地名情報を変更する

測位で取得した情報と現在位置が異なる場合、本機のデータベースに登録されている選択可能な他の候補地から、希望の地名やランドマークに変更できます。

1 GPS/センサーメニューから [GPS地名変更] を選ぶ

● [GPS] が表示されている場合、他の地名情報を選択できます。

2 ▲/▼ で変更したい項目を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で候補から地名またはランドマークを選び、[MENU/SET] を押す

■ 地名やランドマークを撮影した画像に記録しないとき

地名情報をすべて記録しないとき: **上記手順2で [全地名を消去] を選ぶ**

・確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと表示されていた地名情報すべてが消去され、次回からの撮影に情報は記録されません。

特定の地名情報を記録しないとき: **上記手順3で [国名を消去] などを選ぶ**

・確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去した項目から下位の項目すべてが消去され次回からの撮影に情報は記録されません。(例: [県/州] を消去した場合は、それより下位の[市区/郡]、[町/村]、[ランドマーク]も同時に消去されます)

お知らせ

- 消去した情報を戻す場合は、再度設定し直してください。
- 候補地に希望の地名やランドマーク名が表示されない場合は、撮影前に [マイランドマーク登録] (P72) を行うか、撮影後に [GPS地名編集] (P102) を行ってください。
- 地名やランドマークを消去しても、緯度/経度は消去されません。緯度/経度を記録しない場合は[GPS設定]を[OFF]にしてください。

GPS機能を使って撮影する（つづき）

撮影モード：iA ◎ 📷 ☃ 🏖 🐟 SCN 3D

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

地名情報の表示・非表示を切り換える

画面に表示される地名情報の表示・非表示を切り換えます。

1 GPS/センサーメニューから[地名表示設定]を選ぶ

2 ▲/▼ で変更したい項目を選び、[MENU/SET] を押す

3 ▲/▼ で表示する項目は [ON] を、表示しない項目は [OFF] を選び、[MENU/SET] を押す

ランドマークを追加で登録する

本機のデータベースに新しくランドマークを追加登録します。登録後は測位結果として画面に表示したり、記録したりすることができます。

1 GPS/センサーメニューから[マイランドマーク登録]を選ぶ

2 ▲/▼ で[未登録]を選び、[MENU/SET] を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと測位が開始されます。
- 測位に成功すると現在位置情報が表示されます。

3 GPS 情報を確認後、[MENU/SET] を押す

4 ランドマーク名を入力する
- 文字入力の方法について94ページの「文字を入力する」をお読みください。

■ 登録済みのランドマーク名を変更または消去する

1 上記手順2ですでに登録済みのランドマーク名を選び、[MENU/SET] を押す

2 ◄/► で [編集] または [解除] を選び、[MENU/SET] を押す
- [編集]を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。再度、ランドマーク名を入力してください。
- [解除]を選んだ場合は、登録したランドマークが消去されます。

お知らせ
- 追加登録できるランドマークは 50 件までです。

GPS/センサーメニューの設定方法はP35へ

GPS機能を使って時刻を自動補正する

GPS衛星から受信する日時情報を利用して、現在位置の時刻に自動で本機の時計を補正します。時差のある国や地域に移動したとき、測位に成功すると自動的に現地時間に設定されます。

1 セットアップメニューから[自動時刻合わせ](P37)を選ぶ

2 ▲/▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

3 「時計を設定する」(P22)の手順**6**以降の操作を行う(初回のみ)

お知らせ

- [自動時刻合わせ]を[ON]に設定すると、[ワールドタイム](P79)が自動的に[旅行先]に設定されます。
- [自動時刻合わせ]で補正される日時は、電波時計のように正確ではありません。正しく補正されない場合は、[時計設定]で合わせ直してください。

方位、高度、気圧を計測する

撮影モード：iA 📷 SCN 3D

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

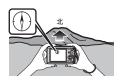
本機に内蔵された方位計、高度計、気圧計を使い撮影場所の環境情報を表示したり、撮影した画像に記録したりできます。

方位計、高度計、気圧計を表示する場合は、[GPS設定]を[ON]または[GPS]に設定後、[DISP.]を数回押して環境情報画面に切り換えてください。

- 方位、高度は撮影時に表示されていても、GPSの測位に成功していない場合は記録されません。
- 動画※は撮影開始時の方位、高度、気圧が記録されます。

※ [MOTION JPEG]、または[AVCHD]の[GFS]/[GS]

方位計

- 本機のレンズが向いている方向を基準に 8 方位を計測します。
- 方位計の針の色の付いた部分が指す方向が北になります。

偏角補正について

地球は北極をＳ極、南極をＮ極とする大きな磁石となっており、地球の持つ磁気を「地磁気」と呼びます。「地磁気」の影響により磁気コンパスが指す北と地球上での正確な北「真北」との間に角度のずれが生じます。この角度のずれを「偏角」と呼びます。
本機に搭載されている方位計は内蔵の磁気センサーが自動的に「偏角」を補正し、「真北」を指します。

- **本機の偏角補正はGPSの測位によって取得する緯度/経度情報をもとに行います。場所によっては、移動することにより偏角の度合いが変化する場合があるので、こまめに測位して現在位置の緯度/経度を更新することをおすすめします。**

お知らせ

- 本機を逆さまにして計測すると、正確に計測できない場合があります。
- 地磁気の弱い場所では、方位計測値に影響が出る場合があります。
- 以下のような物が付近にあると、正確に計測できない場合があります。
  - ・永久磁石（磁気ネックレスなどの金属）/ 金属（鉄製の机、ロッカーなど）/ 高圧線や架線 / 家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話、スピーカーなど）
- 以下のような場所では、正確に計測できない場合があります。
  - ・自動車 / 電車 / 船 / 飛行機 / 室内（鉄骨が磁化している場合）

方位計を調整する

付近に強い磁気を発するものがあるなど、使用環境によっては地磁気が乱れ、方位が計測されない場合があります。方位が計測されないときは方位計に[✖]が表示され、調整を促すメッセージが表示されます。その際は、[方位計調整]を行ってください。

1 GPS/センサーメニューから[方位計調整]を選び、[MENU/SET]を押す

2 本機を縦向きにしっかりと持ち、手首を返すようにして8の字に数回、回す

- 調整に成功すると、調整が完了したメッセージが表示されます。

お知らせ

- **落下防止のため、必ず手首にストラップをかけて調整を行ってください。**
- 調整に失敗した場合は、付近の磁気の影響を受けない場所に移動して、再度調整してください。
- 方位計に[✖]が表示されていても、測位に成功している場合は、方位情報が記録されます。ただし、記録される方位情報は正確ではありません。

高度計

現在位置の高度を確認することができます。
お買い上げ時、高度計は調整されておらず、海抜0 m = 1013 hPa※を基準の値としています。表示される高度は、本機内部の気圧を高度に換算した値です。
※ hPa(ヘクトパスカル)は気圧を表すのに用いる単位です。

- 表示範囲は－600 m ～ 9000 m です。
- 高度値の表しかたには、以下の2とおりがあります。
  - ・海抜高度(海面からの絶対的な高さ)
  - ・相対高度(ある場所とある場所との高さの差)

本機で表示される高度値は相対高度を採用しており、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の高度と気圧の関係を使って高度を推定する方法で相対高度を表示します。

高度計を調整する

お買い上げ時、高度計は調整されていません。より正確な高度を計測するため、高度基準の標識のあるところや正確な高度情報などと、本機が示す高度を照らし合わせ、こまめに[高度計調整]を行うことをおすすめします。

1 GPS/センサーメニューから[高度計調整]を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲/▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- 高度計に表示されている現在地の高度が[高度計調整]画面に表示されます。計測時の周囲の気圧状況により、正確な高度が表示されない場合があります。

3 ◀/▶で調整したい項目を選び、▲/▼で設定する

- － 599 m ～ 8999 m まで調整できます。

4 [MENU/SET]を押して決定する

- 手順 **2** に戻り、[OFF]を選ぶと調整した高度値が現在の値に戻ります。

お知らせ

- 計測された高度値が表示範囲を超える場合は調整できません。[－－－－]と表示されます。
- 相対高度値での表示は、[高度計調整]で調整された値によっては、実際は海面より高くてもマイナス表示される場合があります。
- 調整しても、数mの誤差が発生する場合があります。調整した高度を保つため、76ページの「計測される高度と気圧について」をお読みください。

方位、高度、気圧を計測する（つづき）

撮影モード：[iA][○][スポーツ][キッズ][ビーチ][SCN][3D]

気圧計

登山やキャンプなどで晴天や雨天の変化の傾向を知る目安になります。現在の気圧情報を基準にして－10 hPa～＋10 hPaの範囲内でグラフ表示します。（範囲外の気圧は詳細に表示できません）

- 気圧は大気の動きに伴なって変化します。
  - ・気圧が高くなりつつあるとき：天気は回復傾向
  - ・気圧が低くなりつつあるとき：天気は下り坂傾向
- [GPS設定]を[ON]に設定しておくと、電源を切っている間も気圧が計測されます。
- 以下の場合、気圧がグラフに記録されません。
  - ・[GPS設定]が[ON]で、バッテリー残量が少なく電源が入っていないとき
  - ・[GPS設定]が[✈GPS]で、電源が入っていないとき
  - ・[GPS設定]が[OFF]のとき
  - ・ビーチ&シュノーケリングモードまたは水中モードのとき
- 表示できる範囲（現在の気圧を基準に－10 hPa～＋10 hPa）を超えたときは、正しく表示されません。

■ 計測される高度と気圧について

- 高度値は気圧変化などにより高度基準の標識のある場所などと比べ、誤差が出る場合があります。[高度計調整]でこまめに調整してください。
- 飛行機でアナウンスされる高度は、飛行機の周りの大気圧を計測しています。実際に機内で計測した高度と一致しません。
- 本機を一定の高さに固定していても、気圧変化の影響により、計測された高度が変動する場合があります。海面付近では0.12 hPaごとに1 m変化します。
- 以下の場合、高度や気圧が正しく計測されないことがあります。
  - ・気象条件（気圧や大気の温度）の大きな変化
  - ・急な高度差が生じる移動
  - ・本機の正面や背面に圧力がかかったとき※1
  - ・本機が濡れた状態（水中で使用後など）※2
  - ・側面扉を閉じたとき※2

※1 計測時は、図のように本機をお持ちください。

※2 数分で周囲の気圧に適応し、正しい計測値を表示します。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

旅行の経過日数や旅行先を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P103）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P22）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、[MENU/SET]を押す（P35）

2 ▲で[トラベル日付設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼/◀/▶で出発日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

5 ▲/▼/◀/▶で帰着日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

6 ▼で[旅行先]を選び、[MENU/SET]を押す

7 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

撮影

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）（つづき）

撮影モード：iA ◎ ⛷ ☃ 🌴 🐟 SCN 3D

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、94 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**の画面で[OFF]を選んでください。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。
[旅行先]の記録だけを解除したい場合は、手順**7**の画面で[OFF]を選んでください。

お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を切っても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、日付情報は記録されません。
- [旅行先]は、GPS機能で画像に記録される地名情報とは別で記録されます。
- [AVCHD]の[FSH]/[SH]で撮影された動画は、[トラベル日付]を設定できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ[時計設定]****（P22）****で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[ワールドタイム] を選び、[MENU/SET]を押す（P35）

● お買い上げ時はメッセージが表示されます。
[MENU/SET]を押し、手順**3**の画面から設定してください。

2 ▼で [ホーム]（お住まいの地域）を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

● ホームがサマータイム[☼◷]（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。（時計が 1 時間進みます）もう一度 ▲ 押すと元に戻ります。

現在時刻

10:00

東京
ソウル

GMT（グリニッジ標準時）との時差

GMT+ 9:00

戻る　選択　決定

4 ▲で[旅行先]を選び、[MENU/SET]で決定する

● [旅行先]または[ホーム]の選ばれているほうの時間を表示します。

5 ◀/▶で旅行先のあるエリアを選び、[MENU/SET]で決定する

● 旅行先がサマータイム[☼◷]（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。（時計が 1 時間進みます）もう一度▲を押すと元に戻ります。

● 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

● 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に[✈]が表示されます。

● [自動時刻合わせ]が[ON]の場合、[旅行先]のサマータイム設定のみ変更できます。

撮影

撮影メニューを使う

画像横縦比

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

使えるモード:

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

お知らせ

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P144)

記録画素数

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

使えるモード:

画像横縦比:[4:3]のとき

12M (12M)	4000×3000画素
8M (8M EZ)※	3264×2448画素
5M (5M EZ)	2560×1920画素
3M (3M EZ)※	2048×1536画素
2M (2M EZ)※	1600×1200画素
0.3M (0.3M EZ)	640×480画素

画像横縦比:[3:2]のとき

10.5M (10.5M)	4000×2672画素
7M (7M EZ)※	3264×2176 画素
4.5M (4.5M EZ)※	2560×1712画素
2.5M (2.5M EZ)※	2048×1360画素
0.3M (0.3M EZ)※	640×424画素

画像横縦比:[16:9]のとき

9M (9M)	4000×2248画素
6M (6M EZ)※	3264×1840画素
3.5M (3.5M EZ)※	2560×1440画素
2M (2M EZ)※	1920×1080画素
0.2M (0.2M EZ)※	640×360画素

撮影メニューの設定方法はP35へ

画像横縦比：[1:1]のとき

(9M)	2992×2992画素
(6M EZ)※	2448×2448画素
(3.5M EZ)※	1920×1920画素
(2.5M EZ)※	1536×1536画素
(0.2M EZ)※	480×480画素

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

お知らせ

- デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。
- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
- 以下の場合はEX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
  - ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - ・スライド3D撮影モード時
  - ・動画撮影時
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- シーンモードの[変身] 時、3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)に固定されます。
- シーモードの[フォトフレーム]時、2M(4:3)に固定されます。

クオリティ

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

使えるモード：

[ ]	ファイン(画質を優先するとき)
[ ]	スタンダード(標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき)

お知らせ

- シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]時は、[ ]に固定されます。
- 3D 撮影時は、以下のアイコンが表示されます。
  [3D](MPO+ファイン)：　MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
  [3D](MPO+スタンダード)：　MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

ISOISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

使えるモード：

[AUTO]、[iISO]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]

	[100]	[1600]
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

ISO感度	設定内容
AUTO 最大[ISO400] (フラッシュ使用時[ISO1600])	明るさに応じて、自動的に ISO 感度を調整します。
iISO 最大[ISO1600] (インテリジェント)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
100/200/400/800/1600	それぞれのISO感度に固定します。

■ iISO(インテリジェントISO感度コントロール)とは

被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

お知らせ

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、49 ページをお読みください。
- 以下の場合、ISO感度は[iISO]に固定されます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]
  - ・スポーツモード
- 動画撮影時は[AUTO]に固定されます。

WB ホワイトバランス

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

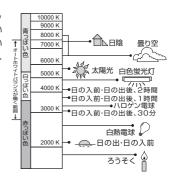
使えるモード：

[AWB]	自動調整
[☼]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[⌂]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[-☼-]	白熱灯下での撮影時
[▟]	[▟SET]で設定した値を使用
[▟SET]	手動で設定

お知らせ

- 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[▟SET]をご使用ください。
- 電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは [AWB]に戻ります）
- 以下の場合、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  - ・雪モード
  - ・ビーチ & シュノーケリングモード
  - ・水中モード
  - ・シーンモードの [風景]、[夜景 & 人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[パーティー]、[キャンドル]、[夕焼け]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[空撮]、[サンドブラスト]

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

撮影メニューを使う（つづき）

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [SET] を選び、[MENU/SET] を押す

2 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] を押す

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して、再度設定してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを[ ]/[ ]/[ ]/[ ]/[ ]に設定時のみ、微調整することができます。

1 微調整するホワイトバランスを選び、[DISP.] を押して [WB微調整] を表示させる

2 ◀/▶ でホワイトバランスを調整する

◀：赤（青みが強い場合）
▶：青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、"0"を選んでください。

3 [MENU/SET] を押して終了する

お知らせ

- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 電源を切っても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[ ]（セットモード）の微調整レベルは "0" に戻ります。
- ビーチ&シュノーケリングモード、水中モードでは、[AWB]に固定されますが、微調整できます。
- [カラーモード] の [白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム] 時は、ホワイトバランス微調整を設定できません。

撮影メニューの設定方法はP35へ

オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。

使えるモード：

[ ]（顔認識）	人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[ ]（追尾 AF）	指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾）
[ ]：（23点）※	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。 （AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）
[ ]（1点）	中央のAFエリア内にピントを合わせます。
[ ]（スポット）※	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

※動画撮影中は [ ] になります。

お知らせ

- [個人認証] が[ON]のときは [ ] に固定されます。
- シーンモードの [星空]、[花火]では オートフォーカスモードは [ ] に固定されます。
- 以下の場合、[ ] に設定できません。
  - ・水中モード
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[空撮]

■ （顔認識）について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]（動画撮影時は[ ]）に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・被写体が人物以外である
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・水中撮影時

撮影

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ [追尾AF]（追尾AF）を設定する

被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押す

- 被写体を認識すると、AFエリアが黄色で表示され、被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントを合わせます。（動体追尾）
- もう一度▼を押すと、AF ロックは解除されます。

お知らせ

- 以下の場合など、撮影状況によっては、AFロックに失敗したり、動体追尾で被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・水中撮影時
  - ・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ・ズーム使用時
- AFロックに失敗したときは、追尾 AF 枠が赤くなったあと消えます。もう一度 ▼ を押してください。
- AF ロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[■]で撮影されます。
- 以下の場合、[追尾AF]に設定できません。
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ハイダイナミック]
  - ・カラーモードの [白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]

Q-AF クイックAF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

使えるモード： [通常撮影][スポーツ][ベビー][ペット][水中][SCN][3D]

[ON]、[OFF]

お知らせ

- バッテリーの消耗は早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 追尾AF動作中は働きません。
- シーンモードの[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]、[花火]時は、[クイックAF]の設定はできません。

個人認証

お知らせ
- 詳しくは、64 ページをお読みください。

暗部補正

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

使えるモード：

[ON]、[OFF]

お知らせ
- [ISO感度] が [ISO100] のときでも、[暗部補正] 有効時に撮影すると、[ISO感度] は [ISO100] より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- [暗部補正] 有効時は、画面の [ ] が黄色になります。

MIN 下限シャッター速度

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。

使えるモード：

[AUTO]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]

下限シャッター速度設定	1/125 秒 ⇔	1 秒
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ブレ	少ない	多い

お知らせ
- 通常は、[AUTO] に設定して、お使いください。（[AUTO] 以外を選択した場合、画面に [MIN] が表示されます）
- [AUTO] を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または [手ブレ補正] が [OFF] のときにシャッタースピードは最大 1 秒になります。
- [下限シャッター速度] を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- [下限シャッター速度] を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをおすすめします。適正露出でないとき、シャッターボタンを半押しすると [MIN] が赤く点滅します。

撮影

撮影メニューを使う（つづき）

I.R超解像

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。
使えるモード： [camera]

[ON]	[超解像]が働きます。
[iA ZOOM]	[超解像]が働き、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。
[OFF]	—

お知らせ

- iA ズームについては45ページをお読みください。

デジタルズーム

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

使えるモード： [camera] [SCN]

[ON]、[OFF]

お知らせ

- 詳しくは、45 ページをお読みください。
- ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。

連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影後にお気に入りの画像を選んでください。
使えるモード： [iA] [camera] [SCN]

[連写]、[OFF]

連写速度：　約3.7コマ/秒
連写コマ数：最大7コマ

お知らせ

- ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目の設定に固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2コマ目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- セルフタイマー使用時の連写設定は、3コマに固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源を切っても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは [発光禁止] になります。**
- 以下の場合、連写の使用はできません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[手持ち夜景]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影時

カラーモード

画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。

使えるモード:

[標準]	標準的な設定
[Happy] ※1	明るさと鮮やかさが強調された画像
[ナチュラル] ※2	柔らかい画像
[ヴィヴィッド] ※2	くっきりとした画像
[白黒]	白黒画像
[セピア]	セピア色の画像
[クール] ※2	青っぽい画像
[ウォーム] ※2	赤っぽい画像

※1 インテリジェントオートモード時のみ設定できます。
※2 通常撮影モード時のみ設定できます。

AF補助光

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます)

使えるモード:

[ON]、[OFF]

お知らせ

- 補助光の有効距離は1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 以下の場合、[AF 補助光] は [OFF] に固定されます。
  ・水中モード
  ・シーンモードの [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]

デジタル赤目補正

使えるモード:

[ON]、[OFF]

お知らせ

- 詳しくは、48ページをお読みください。

撮影メニューを使う（つづき）

手ブレ補正

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

使えるモード:

[ON]、[OFF]

お知らせ

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- 動画撮影時またはシーンモードの[自分撮り]、[手持ち夜景]では、[ON]に固定されます。
- シーンモードの[星空] では[OFF]に固定されます。

日付焼き込み

撮影日時入りの写真を撮影できます。

使えるモード:

[日付]	年月日を焼き込みます。
[日時]	年月日時分を焼き込みます。
[OFF]	—

お知らせ

- **[日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。**
- **日付焼き込みされた写真をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 時計設定せずに撮影された写真には、日付情報を焼き込むことができません。
- 以下の場合、日付焼き込みは設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]
  - ・オートブラケット
  - ・撮影メニューの[連写]
  - ・動画撮影時
- [日付焼き込み]を設定して撮影した写真は、[文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]の設定はできません。
- [日付焼き込み]を[OFF]にして撮影しても、[文字焼き込み](P103)を使って撮影画像に日付を焼き込んだり、日付プリント(P109、128)を設定することができます。

時計設定

お知らせ

- 詳しくは、22ページをお読みください。

動画撮影メニューを使う

撮影モード

動画のデータ形式を設定します。

使えるモード:

[AVCHD]:

- ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。
- AVCHD対応機器にカードを入れて、そのまま再生できます。詳しくは、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。

[MOTION JPEG]:

- パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。
- SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。

画質設定

記録する動画の画質を設定します。

使えるモード:

[AVCHD]を選んだ場合

項目	画質(ビットレート)	コマ数	画像横縦比
[GFS]	1920×1080画素/約 17 Mbps	60i(CCD出力30コマ/秒)	16:9
[FSH]			
[GS]	1280×720画素/約 17 Mbps	60p(CCD出力30コマ/秒)	
[SH]			

- 「ビットレート」とは一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間あたりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- [GFS]、[FSH]は[GS]、[SH]よりも高解像度、高画質の動画を撮影できます。
- [AVCHD] の [GFS]/[GS] で撮影すると、GPS情報を記録することができます。

動画撮影メニューを使う（つづき）

[MOTION JPEG] を選んだ場合

項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
[HD]	1280×720画素	30 コマ/秒	16:9
[VGA]	640×480画素		4:3
[QVGA]	320×240画素		

● [QVGA] 以外は内蔵メモリーには記録できません。

お知らせ

● [AVCHD] および [MOTION JPEG] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

アクティブモード

光学式の手ブレ補正に加え、電子式の手ブレ補正が働き、歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

使えるモード：

[ON]、[OFF]

お知らせ

● 動画撮影時、画角は狭くなります。
● W端時に、より強い補正効果が得られます。
● 室内や薄暗い場所での撮影時、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
● 以下の場合は[OFF]に固定されます。
・シーンモードの [ピンホール]、[サンドブラスト]
・[MOTION JPEG]

C-AF AF連続動作

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

使えるモード：

[ON]、[OFF]

お知らせ

● 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF]に設定してください。
● シーンモードの[星空]、[花火]では[OFF]に固定されます。

動画撮影メニューの設定方法はP35へ

風音低減

音声記録時の風雑音を記録しにくくします。

使えるモード：

[ON]、[OFF]

お知らせ
- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なります。

LED ライト

暗い場所での撮影時に、被写体をライトで明るく照らします。

使えるモード：

[ ]	動画撮影中に撮影状況に応じて点灯します。
[ ]	動画撮影中に常時 LED ライトを点灯します。
[ ]	動画撮影中に常時 LED ライトを消灯します。

お知らせ
- LEDライトの照射範囲は最大 50 ｃｍ です。
- LEDライトを常時使用した場合、バッテリーの寿命が短くなります。
- [ ] 設定時、バッテリーの残量が少なくなると暗い場所でも点灯しない場合があります。
- ライトの使用が禁止されている場所や、[ ]設定時に明るい場所でもLEDライトが消えない場合は、[ ] に設定してください。
- 以下の場合、[ ]に固定されます。
  ・シーンモードの [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2]

文字を入力する

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前](P60)
  - ・[個人認証]の[名前](P66)
  - ・[マイランドマーク登録](P72)
  - ・[トラベル日付]の[旅行先](P77)
  - ・[タイトル入力](P101)
  - ・[GPS地名編集](P102)

2 ▲/▼/◀/▶ で文字を選び、[MENU/SET] で入力する

- [切換]にカーソルを合わせ [MENU/SET] を押すと、かな（ひらがな）、カナ（カタカナ）、A/a（アルファベット）、1（数字）、&（記号）に文字を切り換えることができます。
- 入力位置のカーソルは、ズームボタンで左右に移動できます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、ズームボタンのTを押してカーソルを移動してください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押すと以下の操作が行えます。
  - ・[␣]：　空白を入力
  - ・[消去]：　文字を消去
  - ・[◀]：　入力位置を左に移動
  - ・[▶]：　入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ：　最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）
  - ・A/a/1/&※：　最大30文字（[個人認証]の名前設定時は最大9文字）

  ※ [＼]、[「]、[」]、[・]、[―]は最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）です。

3 ▲/▼/◀/▶ で[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合： ❶ ▲/▼/◀/▶ で[切換]を選ぶ ❷ [MENU/SET]を数回押し、カナに切り換える ❸ ▲/▼/◀/▶ で「ハ」に移動し、[MENU/SET]を押す ❹ ▲/▼/◀/▶ で「゛゜」に移動して[MENU/SET]を2回押し、「パ」にする ❺ ▲/▼/◀/▶ で「ラ」に移動して[MENU/SET]を2回押し、「リ」にする ❻ ▲/▼/◀/▶ で[決定]に移動し、[MENU/SET] を押す

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

動画から写真を作成する

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に▲を押して、一時停止にする

2 [MENU/SET] を押す

● 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

記録画素数

記録画素数は以下のとおりです。

[MOTION JPEG]	記録画素数
[HD]	2 M(16:9)
[VGA]/[QVGA]	0.3 M(4:3)

[AVCHD]	記録画素数
[GFS]/[FSH]/[GS]/[SH]	2 M(16:9)

お知らせ

● 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。
● 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
● 被写体に明るい部分があると、赤っぽい縦すじが出たり、画像の一部または全体が赤っぽくなることがあります。

いろいろな再生方法

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 [▶]を押す

2 [MODE]を押す

3 ▲/▼/◀/▶で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定
[通常再生](P28)	すべての画像を再生します。
[スライドショー](P96)	画像を順番に再生します。
[絞り込み再生](P98)	画像を分類して再生します。
[カレンダー検索](P99)	撮影した日付ごとに画像を再生します。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみ、GPS機能を使って撮影した画像を地名別になどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 ▲/▼で再生するグループを選び、[MENU/SET]を押す

- [3D]の写真を3Dで再生する方法については、118ページをお読みください。
- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください。
  カテゴリーの詳細については99ページをお読みください。

2 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

▲	再生/一時停止
▼	終了
◀	前の画像へ※
▶	次の画像へ※

[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

※一時停止中および動画再生中のみ操作できます。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
- [動画のみ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音設定]	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。

いろいろな再生方法（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

絞り込み再生

写真、動画、または3D写真など、画像を分類して再生します。

項目	設定内容
[写真のみ]	写真のみを再生します。
[動画のみ]	動画のみを再生します。
[3D]	3D 写真のみを再生します。 ●[3D]の写真を3Dで再生する方法については、118ページをお読みください。
[GPS地名別]	撮影した場所の地名やランドマークを選んで再生します。 **1 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す** **2 ▲/▼/◀/▶ で地名やランドマークを選び、[MENU/SET] を押す**
[トラベル]	[トラベル日付]を設定中に撮影した画像を再生します。 **▲/▼で項目を選び、[MENU/SET] を押す** ●[全画像]を選んだ場合は、[トラベル日付]を設定して撮影されたすべての画像を再生します。 ●[トラベル日付別]または[旅行先別]を選んだ場合は、▲/▼/◀/▶で日付や旅行先を選び、[MENU/SET]を押す。
[カテゴリー選択]	シーンモードなどのカテゴリー(人物·風景·夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。 **▲/▼/◀/▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET] を押す** ●画像が見つかったカテゴリーのみ選択できます。 (画面表示：カテゴリー選択／カテゴリー検索中／戻る／選択／決定)
[お気に入り]	[お気に入り]設定(P108)した画像を再生します。

■ 分類されるカテゴリーについて

[カテゴリー選択]時は、以下のように分類されます。

	シーンモードなどの撮影情報
	個人認証※
	人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景 &人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
	風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、星空
	スポーツモード、雪モード、ビーチ & シュノーケリングモード、パーティー、キャンドル、花火、空撮
	赤ちゃん、i赤ちゃん
	ペット
	料理
	水中モード

※ ▲/▼/◀/▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] を押して再生してください。

カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

[MENU/SET] を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [/↩] を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2011 年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]または[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

WEBアップロード設定

画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX CLUB PicMate/Facebookへは写真のみ、YouTubeへは動画のみをアップロードすることができます。
- **内蔵メモリーの画像には設定できません。カードにコピー(P112)してから[WEBアップロード設定]をしてください。**

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

■ 画像共有サイトへアップロードする

[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)がカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと(P122)、アップロードの操作を行います。詳しくは、125ページをお読みください。

■ [WEBアップロード設定]を全解除する

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ
2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 他機で撮影された画像には、設定できない場合があります。
- 512 MB未満のカードでは設定できません。

再生メニューの設定方法はP35へ

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P103)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 文字を入力する(P94)

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 動画または他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

GPS地名編集

撮影した時点での位置情報をもとに本機のデータベース内を検索し、選択できる候補として他の地名やランドマーク名を表示します。選んだ候補の情報を上書きして地名情報を変更できます。

1 再生メニューから[GPS地名編集]を選ぶ

2 ◀/▶で[GPS]アイコンの付いた画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

項目	設定内容
[候補から選択]	本機データベース内を検索し、他の候補地を表示します。 **1 ▲/▼で変更したい項目を選び、[MENU/SET] を押す** **2 検索結果から候補を選び、[MENU/SET] を押す**
[直接入力]	記録された地名やランドマーク名を文字入力機能で変更できます。 ● 文字入力の方法については94ページの「文字を入力する」をお読みください。
[直前データのコピー]	最後に行った編集内容を他の画像にコピーします。 **最後に行った編集内容が表示されたときに、[MENU/SET]を押す** ● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。 ● 選んだ画像に編集内容がコピーされます。

● 実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

● 2010年以前に発売されたGPS機能付きの当社製カメラ(LUMIX)で撮影された画像は編集できません。

再生メニューの設定方法はP35へ

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、GPS機能で記録した地名やランドマーク名、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[１枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに日付/文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます。

[１枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

5 ▲/▼で焼き込む項目を選び、[MENU/SET]を押す

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

6 ▲/▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[日付]：年月日を焼き込みます。 [日時]：年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[ ]（個人認証）：[個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/]（赤ちゃん/ペット）： シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[旅行先]	[ON]：[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
[トラベル日付]	[ON]：[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]
[タイトル]	[ON]：[タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]
[国/地域]	[ON]：GPS機能で記録した地名やランドマーク名を焼き込みます。 [OFF]
[県/州]	
[市区/郡]	
[町/村]	
[ランドマーク]	

7 [/]を押す

8 ▲で[実行]を選び、[MENU/SET]を押す

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

● 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
● [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
● 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
● 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
● 0.3 Mより小さい画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
● 文字数の多い地名やランドマーク名は、すべてが焼き込まれない場合があります。
● 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
・動画
・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
・日付/文字焼き込みされた画像
・他機で撮影された画像

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにおすすめです。**分割すると、元に戻すことができません。**

1 再生メニューから[動画分割]を選ぶ

2 ◄/► で分割編集したい動画を選び、[MENU/SET]を押す

3 分割したい位置で▲を押す

- もう一度▲を押すと、続きから動画が再生されます。

4 ▼を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失する恐れがあります。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後の方では分割できない場合があります。
- [MOTION JPEG]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]や[絞り込み再生]の[動画のみ]で表示することをおすすめします。
- [AVCHD]動画の場合、画像の順番は変わりません。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

リサイズ（縮小）　画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量（記録画素数）を小さくします。

1 再生メニューから［リサイズ（縮小）］を選ぶ

2 ▲/▼で［1枚設定］または［複数設定］を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像、サイズを選ぶ

［1枚設定］選択時

1 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

2 ◀/▶でサイズを選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

［複数設定］選択時

1 ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISP.]を押す

- この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- ［複数設定］で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズ（縮小）を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ（縮小）できない場合があります。
- 動画または日付/文字焼き込みされた画像はリサイズ（縮小）できません。

✂トリミング(切抜き)　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームボタンと▲/▼/◀/▶で切り抜く部分を選ぶ

W T
ズームボタン(T):　拡大
ズームボタン(W):縮小
▲/▼/◀/▶:　移動

4 [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 動画または日付/文字焼き込みされた画像はトリミング(切抜き)できません。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみ再生する。（[絞り込み再生]の[お気に入り]）
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。（[★以外全消去]）

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

■ [お気に入り]設定を全解除する

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P112)してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する
- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する
1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ
2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする
プリント枚数設定時、[DISP.]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付/文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画はプリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

再生メニューを使う (つづき)

再生モード:

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 再生メニューから[認証情報編集]を選ぶ

2 ▲/▼で[入換え]または[解除]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ◀/▶で人物を選び、[MENU/SET] を押す

5 ([入換え]選択時)▲/▼/◀/▶で入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー選択](絞り込み再生)の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

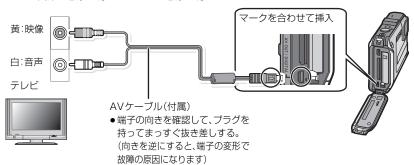
2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。
[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。

3 （[SD→IN]選択時）◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源を切らないでください。

お知らせ

- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD]で撮影された動画はコピーできません。

テレビで見る

再生モード：[▶]

AV ケーブル(付属)を使って見る

準備：[TV画面タイプ](P42)を設定する。
本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

1 **テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する**

2 **本機の[AV OUT] 端子にAVケーブルを確実に接続する**

3 **テレビの電源を入れ、外部入力にする**

4 **本機の電源を入れ、[▶] を押す**

- [▶]長押しで電源を入れると自動的に通常再生が表示されます。

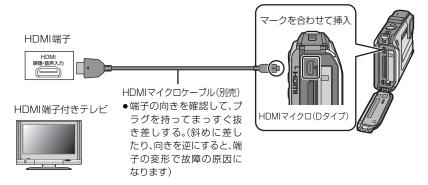
お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 音声はモノラルで再生されます。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AV出力しているときは、方位、高度(水深)、気圧などの環境情報は表示されません。

テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに、カードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD] で撮影した動画は、AVCHD のロゴマークが付いている当社製テレビ（ビエラ）で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。

HDMI端子付きテレビで見る

HDMIマイクロケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。

準備: 本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

1 テレビのHDMI端子にHDMIマイクロケーブルを接続する

2 本機の[HDMI]端子にHDMIマイクロケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、HDMI入力に切り換える

4 本機の電源を入れ、[▶]を押す

- [▶]長押しで電源を入れると自動的に通常再生されます。

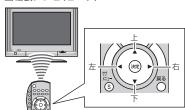
お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 当社製HDMIマイクロケーブル(別売)をお使いください。
  ・品番:RP-CHEU15(1.5 m)
- HDMI出力しているときは、液晶モニターに画像は表示されません。
- HDMI出力しているときは、方位、高度(水深)、気圧などの環境情報は表示されません。
- AVケーブルとHDMIマイクロケーブルを同時に接続しているときは、HDMIマイクロケーブルからの出力が優先されます。
- USB接続ケーブルとHDMIマイクロケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。

テレビで見る（つづき）

再生モード：[▶]

- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの取扱説明書もお読みください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- 再生機能の一部は制限されます。
- 再生メニュー、GPS/ センサーメニュー、セットアップメニューは使用できません。

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う

ビエラリンク（HDMI）とは

- 本機とHDMIマイクロケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2010年12月現在）

準備：[ビエラリンク]（P42）を[ON]に設定する。

1 HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）を接続する（P115）

当社製テレビ（ビエラ）

2 本機の電源を入れ、[▶] を押す

3 テレビのリモコンで操作する

- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

お知らせ

- 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- 操作アイコン表示中にしばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。
  また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[戻る]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおすすめします。
- 本機の[ビエラリンク](P42)を[ON]に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。
  (設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク](P42)を[OFF]に設定してください。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、143ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク(HDMI)のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

VIERA Link

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIマイクロケーブル(別売)をお使いください。
  ・品番:RP-CHEU15(1.5 m)
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIマイクロケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。

3D写真を見る

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。
3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

本機で撮影した3D写真を再生できる3D対応テレビやレコーダーについての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

準備：[3Dテレビ出力]（P42）を[3D]に設定する。

1 HDMIマイクロケーブルで本機と3D対応テレビを接続し、再生画面を表示する（P115）

2 [スライドショー]（P96）または[絞り込み再生]（P98）の[3D]を選ぶ

お知らせ

- [ビエラリンク](P42)を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、116ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。
- 3Dの視聴に適さない画像（視差が大きすぎる、など）の場合
  - ・[スライドショー]：その画像は2Dで再生されます
  - ・[絞り込み再生]：　3Dで再生するか確認画面が表示されます
- 3Dに対応していないテレビで3D写真を再生すると、2つの写真が左右に並んで表示される場合があります。

■ 3D写真では働かない/使用できない機能

- 再生ズーム※
- 消去※
- 再生メニューの編集機能
  ([タイトル入力]/[文字焼き込み]/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)])

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

お知らせ

- 3Dで撮影した写真を本機の液晶モニターで再生した場合、2D(従来の画像)で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

3D写真を残す

レコーダーやパソコンにも 3D写真を保存することができます。

■ レコーダーでダビングする

3Dに対応したレコーダーでダビングすると、3D写真はMPO形式のまま記録されます。

- ダビングした写真が3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

3D記録した写真のダビングについて

ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

■ パソコンにコピーする

詳しくは、121ページの「「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする」をお読みください。

記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、MPO、AVCHD、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SD カードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、MPO)/ 動画 (AVCHD)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

本機で撮影したSDカードを直接入れてダビングできる機器、ハイビジョン(AVCHD)に対応した機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

AV ケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式: 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。
ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P42)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9] に設定してダビングした動画を 4:3 のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビング時は本機の [DISP.] を押し、画面表示を消しておくことをおすすめします。(P44)
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、MPO)/ 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに写真や[AVCHD]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。(P122)

またDVDへの画像書き込み、複数の写真をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真に合成やお好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成などができ、それらをDVDに保存することもできます。

1 お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする
- 動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続ガイド」をお読みください。

2 本機とパソコンを接続する
- 接続のしかたについては、122 ページ「パソコンと接続する」をお読みください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

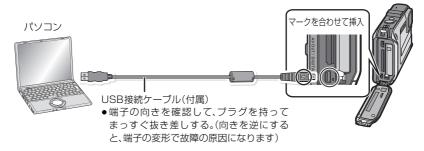
お知らせ
- 取り込んだ[AVCHD]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことなどができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)
  カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続ガイド」**をお読みください。

■ 使用できるパソコン

	Windows			Macintosh
	98/98SE 以前	Me/2000	XP/Vista/7	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える？	**使えません**		**使えます**※1	**使えません**
[AVCHD]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**		**取り込めます**※2	**取り込めません**
USB接続ケーブルを使ってデジタルカメラの写真、[MOTION JPEG]動画をパソコンに取り込める？	**取り込めません**	**取り込めます**		**取り込めます** (OS 9.2.2/OS X [10.1～10.6])

- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 [AVCHD] 動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

写真、[MOTION JPEG] 動画を取り込む（[AVCHD] 動画以外）

準備：本機とパソコンの電源を入れる。
　　　内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

● 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC4）を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」（P124）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

● 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

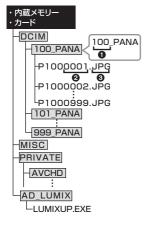
2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

● セットアップメニューで[USBモード]（P41）を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPC と接続します。
● [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外したあと、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 パソコンを操作する

● 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

お知らせ

● AC アダプター（別売）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
● カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

パソコンと接続する（つづき）

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

Windowsの場合：「マイコンピュータ」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示
Macintoshの場合：デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

DCIM：画像
- ❶ フォルダー番号
- ❷ ファイル番号
- ❸ JPG：写真
  - MOV：Motion JPEG動画
  - MPO：3D写真

MISC：DPOFプリント
お気に入り
AVCHD：AVCHD動画
AD_LUMIX：WEBアップロード用
LUMIXUP.EXE：アップロードツール
(LUMIX WEB アップローダー)

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット]（P41）実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合
（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

■ PTPモードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ）

[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしてください。
- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは [AVCHD] で撮影された動画は再生できません。

画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードします。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。
(LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書は、Internet Explorerでご覧ください)

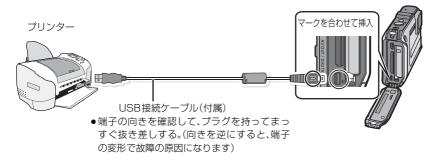
準備: [WEBアップロード設定](P100)で、アップロードする画像を設定しておく。
パソコンをインターネットに接続する。
利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する(P124)
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)が自動的に起動することがあります。

2 アップロード先を選ぶ
- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- LUMIX CLUB PicMate について
・デジタルカメラで撮影した写真を共有･公開して楽しむ、SNS 型写真共有サイトです。
詳しくは、PicMate のサイトをご覧ください。
http://picmate-club.panasonic.jp/
- YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。(本サービスは、2010年12月1日現在のものです)
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。
- GPS機能を使って撮影された画像は地名情報が記録されたまま、画像共有サイトにアップロードされます。よくご確認のうえ、アップロードしてください。

プリントする

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[]が表示されます。[]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- AC アダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

2 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については128ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISP.]を押してください。 (もう一度[DISP.]を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定 (DPOF)	[プリント設定] で設定(P109)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P108)された画像のみをプリントします。

3 ▲で[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す

- プリント開始前に設定できる項目については128ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（つづき）

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 日付/文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを [OFF] にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)	

項目	設定内容
(プリンター)	プリンターの設定が優先されます。
(1面ふちなし)	1面ふちなし印刷
(1面ふちあり)	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
(2面)	2面印刷
(4面)	4面印刷

● プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面)]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面)]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

● プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

● **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に [DISP.] を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証] またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

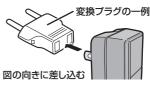
別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BCF10
DCカプラー※	DMW-DCC4
ACアダプター※	DMW-AC5
ソフトケース	DMW-CFT2
フローティングストラップ	DMW-FST1
シリコンジャケット	DMW-CFT3
マリンケース	DMW-MCFT3
HDMI マイクロケーブル	RP-CHEU15

※ **DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。**

マリンケース、フローティングストラップおよびシリコンジャケット以外は防水には対応していません。

記載の品番は2011年1月現在のものです。変更されることがあります。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

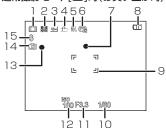
■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

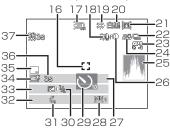
■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード[ ]時(お買い上げ時)

撮影時(各種設定後)

■ 撮影時

1 撮影モード
2 撮影モード(動画撮影時)(P91)
画質設定(P91)
3 記録画素数(P80)
4 クオリティ(P81)
5 フラッシュモード(P47)
6 手ブレ補正(P90)
手ブレ警告(P26):
7 フォーカス(P27)
8 バッテリー残量(P16)
9 AF エリア(P27)
10 シャッタースピード(P25)
11 絞り値(P25)
12 ISO感度(P82)
13 記録動作
14 内蔵メモリー(P20)
カード(P20): (記録時のみ表示)
15 記録可能枚数※1(P21)
16 スポットAFエリア(P85)
17 LEDライト(P93)
18 風音低減(P93)
19 ホワイトバランス(P83)
ブレピタモード(P32)
20 カラーモード(P89)
21 アクティブモード(P92)
22 連写(P88)
オートブラケット(P53):
23 GPS(P69)
GPSの測位中(P70):
24 AFマクロ撮影(P50)
ズームマクロ撮影(P50):
25 ヒストグラム表示(P39)
26 暗部補正(P87)
27 トラベル経過日数(P77)
名前※2(P60)
28 下限シャッター速度(P87)
29 セルフタイマーモード(P51)
30 露出補正(P52)
31 追尾 AF(P86)
AF補助光(P89):AF✳
32 現在日時/旅行先設定(P79)※3:
ズーム/EX光学ズーム(P45)/
iAズーム(P45)/
デジタルズーム(P45、88):
EZ iA ZOOM W T 1X
33 月齢/年齢※2(P60)
旅行先※3(P77)
地名情報(P69)
34 液晶モード(P38)
液晶パワーセーブ(P40):ECO
35 日付焼き込み(P90)
36 記録経過時間(P29)
37 記録可能時間(P29):残XXhXXmXXs※4

※1 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。
※2 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。
※3 電源を入れたとき/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※4 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

再生時

■ 再生時

1 再生モード(P96)
2 プロテクト(P110)
3 お気に入り表示(P108)
4 日付/文字焼き込み済み表示(P90、103)
5 カラーモード(P89)
6 記録画素数(P80)
7 クオリティ(P81)
8 バッテリー残量(P16)
9 画像番号/トータル枚数
再生経過時間(P30):XXhXXmXXs※1
10 GPS(P102)
11 プリント枚数(P109)
12 ヒストグラム表示(P39)
13 名前※2(P60、66)
旅行先※2(P77)
タイトル※2(P101)
地名情報※2(P69)
撮影情報(P44)
14 撮影日時/ワールドタイム(P79)
月齢/年齢※3(P60)
トラベル経過日数(P77)
撮影情報(P44)
15 パワーLCDモード(P38)
16 フォルダー·ファイル番号(P124)
17 動画記録時間(P30):XXhXXmXXs※1
18 内蔵メモリー(P20)
19 動画再生(P30)画質設定(P91)
ケーブル切断禁止アイコン(P126)

※1 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※2 地名情報、[タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。
※3 地名情報またはトラベル経過日数が表示されているときは、月齢/年齢は表示されません。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
この場所ではGPS機能は使用できません	中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。(2010年12月現在)
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P110)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P43)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ●コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ●DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P43)し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P43)し直してください。 データは消去されます。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズが正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P20) ●SDメモリーカード(8 MB〜2 GB) ●SDHCメモリーカード(4 GB〜32 GB) ●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

メッセージ	実行していただきたいこと
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラーカードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●[AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P43)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P43)してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P43)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P41)
16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します	●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P42) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P123、126)
撮影できませんでした	●3D撮影時、撮影場所が暗すぎる/明るすぎる、または濃淡の少ない被写体の場合、撮影できない場合があります。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
このバッテリーは使えません	●本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。
扉が確実に閉じられていることを確認してください。浸水による故障の原因となります。	●詳しくは、19 ページの「浸水防止の警告メッセージ表示について」をお読みください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P137～145）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの［設定リセット］（P41）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を入れても動作しない。またはすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。充電してください。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →［エコモード］（P40）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	●ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIマイクロケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の［ビエラリンク］を［OFF］に設定してください。（P42）
側面扉が閉じない。	●バッテリーの向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認してください。（P18）

■ GPS について

Q（質問）	A（回答）
測位できない	●［GPS設定］が［OFF］になっている。（P68） ●屋内やビルの近くなど、撮影する環境によってGPS衛星からの電波を正しく受信できない場合があります。（P68） →屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナを上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをおすすめします。
電源を切っているときに、GPS動作ランプが点灯する。	●［GPS 設定］が［ON］になっている。 →飛行機の機内や病院などで電源を切るときは、［GPS設定］を［OFF］または［✈GPS］にしてください。
測位に時間がかかる	●初めて使う場合やしばらく使わなかった場合は、数分かかる場合があります。 ●通常、2分以内に測位できますが、GPS衛星の位置は変化するため、撮影する場所や環境によっては時間がかかる場合があります。 ●GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。（P68）
地名情報と撮影した場所が違う	●電源を入れた直後またはGPSのアイコンが［GPS］以外のときは、現在の位置と本機に記憶されている地名情報が大きく異なる場合があります。 ●地名情報に［GPS］が表示されているときは、撮影前に他の候補地に変更できます。（P71）
地名情報が表示されない	●付近にランドマークなどが存在しない場合や、本機のデータベースに情報が登録されていない場合、［---］と表示されます。（P69） →再生時に［GPS 地名編集］で地名などを入力できます。（P102）

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
画像が撮れない。	●撮影モードに設定されていますか？ ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P34) ●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときはレンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。 ●レンズの内側がくもってませんか？ →結露が発生しています。対処方法について詳しくは 6 ページ「レンズの内側がくもるとき(結露)」をお読みください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。(P52) ●[下限シャッター速度] を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →[下限シャッター速度](P87)を遅く設定してください。
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→オートブラケット(P53)、または撮影メニューの[連写](P88)を[OFF]に設定してください。 ●シーンモードの[高速連写](P61)または[フラッシュ連写](P61)になってませんか？
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。(P27) ●手ブレや被写体ブレしています。(P26)
オートフォーカスやその他の動作が正常に働かない。	●電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は電源をはずしてお買い上げの販売店か、修理ご相談窓口にご相談ください。
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P26) →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P51)を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	●内蔵メモリー/カードのメモリー残量はありますか？

■ 撮影について(つづき)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか? (お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます) → ISO感度を低くしてください。(P82) → [カラーモード]を[ナチュラル]に設定してください。(P89) → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか? 高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	● CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
動画撮影が途中で止まる。	● [AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P43)することをおすすめします。
AF ロックできない。 (動体追尾できない)	● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。(P86)

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ レンズについて

Q(質問)	A(回答)
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。
レンズの内側がくもる。	● 温度差や多湿など本機の使用環境によって結露が発生し、レンズの内側がくもる場合があります。対処方法について詳しくは 6 ページ「レンズの内側がくもるとき（結露）」をお読みください。

■ 液晶モニターについて

Q(質問)	A(回答)
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	● [液晶モード] が働いてませんか？（P38）
液晶モニターの画面上に 黒、赤、青、緑 の 点 が現れる。	● これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	● 暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	● [⊗]に設定していませんか？ → フラッシュモードを変更してください。(P47) ● オートブラケット(P53)または撮影メニューの[連写](P88)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	● 赤目軽減（P47）にしている場合は、2回発光します。 ● シーンモードの [フラッシュ連写]（P61）になっていませんか？

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P43)を[ ]または[ ]に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	●[▶] を押しましたか？(P28) ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをおすすめします。 ●[絞り込み再生]になっていませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P96)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、フォーマット(P43)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P22) ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	●デジタル赤目補正([ ]、[ ]、[ ])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを[ ]、[ ]、[ ]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをおすすめします。(P89)

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した動画の音声が途切れる。	●動画撮影時、本機は絞りを自動的に調整します。そのときに記録された音声が途切れることがありますが、異常ではありません。
動画に「カチッ」という音が録音される。	●動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 ●動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	●本機で撮影した動画（Motion JPEG）は他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、当社製デジタルカメラ（LUMIX）※においても再生できない場合があります。 ※　2008年12月以前発売分、および2009年発売のFS、LSシリーズ ●[AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDに対応していない機器では再生できません。AVCHD 対応機器でも正しく再生できない場合があります。 →[AVCHD]の[GFS]、[GS]で撮影した動画は、2010年以前に発売されたAVCHD対応の当社製デジタルカメラ（LUMIX）では、再生できません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル（付属）またはHDMIマイクロケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P113、115）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。（P42）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	● HDMIマイクロケーブル(別売)で正しく接続されていますか?(P115) → HDMIマイクロケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 ● 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか?(P42) → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) → 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか? ● パソコンが本機を正常に認識していますか? → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P41、123)
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
パソコンにカードが認識されない。 (SDXCメモリーカードを使用している)	→ お使いのパソコンが SDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。
LUMIX CLUB PicMate、YouTube、Facebook へのアップロードがうまくいかない。	→ ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。 → パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 → ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、PicMate/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 → PicMate(http://picmate-club.panasonic.jp/)やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（つづき）

Q（質問）	A（回答）
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 →本機の[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。（P41、126）
プリントすると、画像の端が切れる。	→トリミング（切抜き）や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） →お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
電源を入れるたびに、何度も[防水などの注意点] が表示される。	● [防水などの注意点]の最終画像（12/12）を見終わったあとに[MENU/SET]を押してください。詳しくは、9ページをお読みください。
シャッターボタンを半押しすると、白いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ（P89）が白く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？（P89） ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。
側面扉が閉じない。	● 異物が挟み込まれていませんか？ →異物を取り除いてください。（P9） ● 閉じるときに[LOCK]スイッチをロック側にして閉じないでください。破損や浸水の原因になります。 →閉じる前にロックを解除してください。（P18）
ズームボタンや側面扉などカメラの各部が動かせない。	● スキー場や標高の高いところなどの寒冷地で使用された場合、雪や水滴が付いたまま放置しておくと、ズームボタンや電源ボタンのすき間などの雪や水滴が凍りカメラの各部が動きにくくなる場合があります。 これは故障ではありません。カメラが常温に戻ると回復します。 ● 砂粒やほこりの多いところで使用した場合、異物がズームボタンや電源ボタンのすき間などに入り込み、カメラの各部が動きにくくなる場合があります。付属のブラシで取り除くか真水で洗い流してください。

■ その他(つづき)

Q(質問)	A(回答)
本機から「カタカタ」音などがしたり、振動する。	以下の場合は、故障ではありませんので、安心してお使いください。 ●電源を切った状態または再生モード時に本機を振ると、「カタカタ」音がする。(レンズが移動する音) ●電源の入/切、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。(レンズが移動する音) ●ズーム操作時に、手に振動が伝わる。(レンズ動作の振動)
レンズ部から「カチッ」と音がする。	●ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P22)
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	●EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	●ズームマクロ(P50)に設定していませんか? ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	●電源を切らずにバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー·ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を入れて撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
放置していたら、突然デモが表示される。	●これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。
本機で計測された方位情報が公共の方角表示などと比べ、異なる。	●偏角補正が正常に働いていない可能性があります。 →GPS/センサーメニューの[測位更新](P70)を行い、現在位置の正しい緯度/経度を取得してください。

使用上のお願い

防水 / 防じん、耐衝撃性能について

- 本機は、JIS保護等級IP68相当の防水/防じん性能があります。水深12 m/60分までの撮影が可能です。※1

※1　当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

- 付属品は防水仕様ではありません。（ハンドストラップを除く）
- MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した厚さ3 cmの合板上での2 mからの落下テストをクリアしています。(P159)※2

※2　すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。

- カメラに衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口(P167)にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検（有料）をおすすめします。
- 温泉、油、アルコール類の飛まつがかかるような環境などで使用された場合、防水/防じん、耐衝撃性能が劣化する場合があります。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。

詳しくは、8 ページの「（重要）本機の防水 / 防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。

寒冷地や低温下でのご使用について

- **寒冷地（スキー場や標高の高いところなどの0 ℃以下の環境）で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。**
- −10 ℃〜0 ℃（スキー場や標高の高いところなどの寒冷地）では、一時的にバッテリーの性能（撮影枚数/使用時間）が低下します。
- 0 ℃未満では充電できません。（充電ができないときは、充電ランプが点滅します）
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地で本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなったり、残像が出るなど一時的に性能が低下する場合があります。寒冷地では、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地で使用された場合、雪や水滴が付いたまま放置しておくと、ズームボタン、電源ボタン、スピーカーやマイクのすき間などの雪や水滴が凍りカメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなる場合があります。これは故障ではありません。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地で使用する際は、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

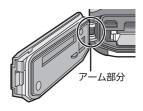
- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(別売:DMW-AC5)、DCカプラー(別売:DMW-DCC4)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

本機は、−10 ℃での動作確認はしておりますが、スキー場や標高の高いところなどの寒冷地では急激に気温が下がり、ズームボタンや電源ボタンが凍るなどカメラの各部が動きにくくなったり、側面扉が開きにくくなる可能性がありますので、お気をつけください。

- 寒冷地で使用する際は、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい乾いた布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザー、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 塩分などが付着した場合、側面扉のアーム部分などが白くなることがあります。水を含ませた綿棒などで白くなった部分がとれるまでふき取ってください。ふき取ったあと、付属のブラシで軽く払ってください。

使用上のお願い（つづき）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地で本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなったり、残像が出るなど一時的に性能が低下する場合があります。寒冷地では、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99％以上の高精度管理をしておりますが、0.01％以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズとマイク、スピーカーについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズに水や汚れが付いているときは、撮影する前に柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- マイク、スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったり、聞き取りにくくなることがあります。マイク、スピーカーを下に向けて水を出してから水滴をふき取り、しばらく乾燥させたあとでお使いください。
- マイクやスピーカーの穴に先端のとがったものを入れないでください。（内部の防水シートが傷つき防水性能が損なわれる場合があります）

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P131）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー（DMW-BCF10）以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質･性能･安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質･性能･安全性などについては、その製造者が責任を負います。

チャージャーについて

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

使用上のお願い（つづき）

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P41)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P112)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P43)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源を切った状態でも、絶えず微少電流が流れています。
- これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。

使用上のお願い（つづき）

重要！本製品に搭載されている地名をご使用になる前に必ずお読みください。

地名データ使用許諾契約書

個人使用限定

本データは、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用（非営利）の目的のためにのみ本デジタルカメラとともに使用し、サービスビューロー、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用しないことに同意してください。
従って、本データは、後述の制限を守ることを条件とし、個人的使用を目的として、（i）閲覧及び（ii）保存するために必要に応じてコピーすることができますが、コピーを行う際には、記載されている著作権表示の削除やデータの変更は一切行ってはなりません。
また、本データの再生やコピー、変更、逆コンパイル、分解、リバースエンジニアリングをしないことに同意してください。法律で認められている場合を除き、その形態や目的に関係なく、本データを譲渡や配布することはできません。
マルチディスクの譲渡や売却ができるのは、パナソニック株式会社から提供されたままの完全なセットとして譲渡や売却される場合に限られます。セットの一部を譲渡や売却することはできません。

制限事項

パナソニック株式会社から具体的に使用許諾を与えられている場合を除き、かつ前記事項を制限することなく、以下を行うことはできません。（a）インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。（b）測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確若しくは不完全な情報が含まれている可能性があります。

無保証

本データは「現状のまま」お届けするものであり、その使用は自らの責任において行うことに同意してください。
パナソニック株式会社とそのライセンサー(及びその先のライセンサー並びに供給者)は、明示的であるか黙示的であるか、法律に由来するものか否かを問わず、本データの内容、品質、正確性、完全性、有効性、信頼性、特定目的への適合性、有用性、用途、本データから得られるべき結果、本データやサーバに中断やエラーのないことなどに関する保証や表明は一切行いません。

免責条項 :
パナソニック株式会社とそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、品質、性能、市販性、特定目的への適合性、権利を侵害していないことなどに関する保証を放棄します。一部の保証除外が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

責任の放棄 :
パナソニック株式会社とそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、以下についてお客様に対し責任は負わないものとします。その原因の本質如何にかかわらず、直接的であるか間接的であるかを問わず、情報の使用若しくは所有に由来して発生する損失、被害若しくは損害を主張する請求、要求若しくは訴訟、又は本情報の使用若しくは本情報を使用できないこと、誤情報、若しくは本書で定められている条件の違反に由来する利益、売上高、契約若しくは貯蓄の損失、その他直接的、間接的、付随的、結果的に生じる損害若しくは特別損害。その際、それが契約に関する訴訟であるか、不法行為訴訟であるか、保証を根拠とするものであるかを問わず、又、たとえかかる損害が生じる可能性についてパナソニック株式会社若しくはそのライセンサーが報告を受けていたとしても責任を負わないことに変わりはありません。
一部の免責が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

輸出規制 :
輸出に関する適用法規で義務付けられているすべてのライセンス及び認可を取得、遵守する場合を除き、お届けしたデータ、又はその直接の成果物を一切輸出しないことに同意してください。

完全なる合意 :
以上の条件は、本書に記載されている内容に関するパナソニック株式会社(とそのライセンサー、その先のライセンサー並びに供給者を含む)とお客様との完全なる合意に相当するものであり、書面によるか口頭によるかを問わず、かかる内容に関してこれまで両者間に存在するすべての合意事項に全面的に取って代わるものです。

測地系について
本機で記録される緯度･経度の条件(測地系)は、WGS84 です。

著作権について
本機に搭載されている地図データは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ナビゲーション機能について
本機はナビゲーション機能を搭載していません。

使用上のお願い（つづき）

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

本サービスは株式会社ゼンリンのPOI（位置情報）を使用しています。
“POWERED BY ZENRIN”は株式会社ゼンリンの商標です。

Australia	Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).
Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia, Cyprus, Estonia, Latvia, Lithuania, Moldova, Poland, Slovenia and/or Ukraine	© EuroGeographics
France	source: Géoroute® IGN France & BD Carto® IGN France
Germany	Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zustaendigen Behoerden entnommen.
Great Britain	Based upon Crown Copyright material.
Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE - Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie.

■ ランドマークの種類

以下の観光地や公共施設などが、ランドマークとして表示されます。

- 約1,000,000件(約70,000件が国内)のランドマークが登録されていますが、登録されていないランドマークもあります。(2010年12月現在のものです。更新はされません)

動物園	植物園	水族館
遊園地(テーマパーク)	ゴルフ場	キャンプ場
スキー場	スケート場	アウトドアレジャー
名所･観光地･景観地	城･城跡	神社
仏閣(寺、観音、不動、薬師)	教会	古墳･碑･塚･史跡･皇室
空港･飛行場	港	フェリーターミナル･渡船のりば
野球場	陸上競技場	体育館
公園	駅	病院
都道府県庁	市役所･区役所	町村役場
大使館･領事館	美術館	博物館
各種資料館	劇場	映画館･シアター
デパート･百貨店	ショッピングセンター･モール	ホール･会館
文化施設	地ビール･地酒･ワイナリー	峡谷･沢･滝･谷･海岸
リフト･ロープウェイ	タワー	

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

使用上のお願い（つづき）

- SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- YouTubeは、Google Inc.の登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.4 W（撮影時） 0.7 W（再生時）

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	1/2.33型CCD　総画素数1250万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学4.6 倍ズーム　f=4.9 mm～22.8 mm（35 mmフィルムカメラ換算：28 mm～128 mm）/F3.3（W端時）～ F5.9（T端時）
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大9.1倍（300万画素[3M]以下時）
フォーカス	通常/AFマクロ/ズームマクロ
	顔認識/追尾 AF/23 点/1点/スポット
撮影範囲	通常：30 cm～∞ マクロ/インテリジェントオート/動画： 5 cm（W端時）/30 cm（T端時）～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影：連写速度 **連写コマ数**	約 3.7コマ/秒 最大 7 コマ
高速連写：連写速度 **連写コマ数**	約 10 コマ/秒（速度優先時）、約7コマ/秒（画質優先時） 記録画素数：3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1） 内蔵メモリー使用時：約15コマ（フォーマット直後） カード使用時：最大100コマ（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO感度 **（標準出力感度）**	オート/インテリジェントISO/100/200/400/800/1600 シーンモードの[高感度]：1600～6400
最低被写体照度	約12 lx（i ローライト時、シャッタースピード1/30秒時）
シャッタースピード	8秒～1/1300秒、シーンモードの[星空]：15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	プログラムAE、露出補正（1/3 EVステップ、－2 EV～+2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	2.7型 TFT 液晶（約23万ドット）（視野率約100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm～約5.6 m（W端、[ISO AUTO]設定時）
	オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約19 MB）/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード

仕様（つづき）

記録画素数 **写真**	画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/3264×2448画素/2560×1920画素/2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 4000×2672画素/3264×2176画素/2560×1712画素/2048×1360画素/640×424画素 画像横縦比[16:9]設定時 4000×2248画素/3264×1840画素/2560×1440画素 /1920×1080画素/640×360画素 /1920×1080画素(3D) 画像横縦比[1:1]設定時 2992×2992画素/2448×2448画素/1920×1920画素/1536×1536画素/480×480画素
画質設定 **動画**	AVCHD（音声付き） [GFS]設定時 1920×1080画素 (60i記録※/約17 Mbps、GPS記録、カード使用時のみ) [FSH]設定時 1920×1080画素 (60i記録※/約17 Mbps、カード使用時のみ) [GS]設定時 1280×720画素 (60p記録※/約17 Mbps、GPS記録、カード使用時のみ) [SH]設定時 1280×720画素 (60p記録※/約17 Mbps、カード使用時のみ) ※ CCD からの出力は 30コマ/秒です MOTION JPEG（音声付き） [HD]設定時 1280×720画素(30コマ/秒、カード使用時のみ) [VGA]設定時 640×480画素(30コマ/秒、カード使用時のみ) [QVGA]設定時 320×240画素(30コマ/秒)
クオリティ（圧縮率）	ファイン/スタンダード /MPO+ ファイン/MPO＋スタンダード
記録画像ファイル形式 **写真** **音声付き動画**	JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応)/MPO AVCHD/QuickTime Motion JPEG
インターフェース **デジタル** **アナログビデオ** **オーディオ**	USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力(モノラル)
端子 **AV OUT/DIGITAL** **HDMI**	専用ジャック(8pin) microHDMI Dタイプ
寸法	約 幅103.5 mm×高さ64 mm×奥行き 26.5 mm（突起部除く）
質量	約197 g(カード、バッテリー含む) 約175 g(本体)
推奨使用温度	−10 ℃※～40 ℃ ※ −10 ℃～ 0 ℃(スキー場や標高の高いところなどの寒冷地)では、一時的にバッテリーの性能(撮影枚数/使用時間)が低下します。

許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切換	なし（日本語のみ）
方位センサー	8方位検出（3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付、自動偏角補正付、自動オフセット調整機能付）
気圧/高度センサー 気圧 高度 水深	 測定範囲 300 hPa ～ 1100 hPa、 1 hPa 単位で 24 時間メモリ機能付（1.5 時間毎） 国際標準大気（ISA）で気圧を高度換算、精度：－5 m～+5 m 3 段階表示（0 m ～ 12 m を 3 段階で表示）
GPS	受信周波数：1575.42 MHz(C/A コード)　測地系：WGS84
防水性能	JIS C0920 IPX8 相当。（深度 12 m の海中で 60 分間の使用に対応）
耐衝撃性能	本機の試験方法はMIL-STD 810F Method 516.5-Shock※ に準拠しています。 ※MIL-STD 810F Method 516.5-Shock とは、米国国防総省の試験法規格で、落下高さ122 cm、落下方向26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を5台のセットを用いて、5台以内で 26方向落下をクリアすることと規定されています。（試験途中で不具合が生じた場合は、新たなセットを用いて合計5台以内で落下方向試験をクリアすること） ● 当社試験法は、上記MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準として、落下高さ122 cmを200 cmとし、厚さ3 cmの合板上へ落下させる試験をクリアしています。 （落下衝撃部分の塗装剥離・変形など外観変化は不問とします） **すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。**
防じん性能	JIS C0920 IP6X 相当

専用バッテリーチャージャー: DE-A59A

定格入力	AC100 V－240 V　50/60 Hz
入力容量	15 VA
定格出力	DC 4.2 V　0.65 A
使用温度	0 ℃※～40 ℃ ※ 0 ℃未満では充電できません。 （充電ができないときは、充電ランプが点滅します）

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCF10

電圧 / 容量	3.6 V/940 mAh
使用温度	–10 ℃～40 ℃（カメラ使用時）
充電推奨温度	10 ℃～30 ℃

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ･発熱･発火･破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなど）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕･⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、側面扉を確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュやLEDライトを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードやブラシは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光、LEDライトは、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

LEDライトを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、70 cm以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

低温下で長時間、直接触れて使用しない

寒冷地(スキー場などの0 ℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。

- 長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

- 離着陸時や使用を禁止された区域では、[GPS設定]を[OFF]または[✈GPS]に設定のうえ、本機の電源をお切りください。(P68)

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する
■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

⚠注意

3D撮影画像を視聴する場合は、30〜60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像を3D対応テレビで見る場合は、画面の有効高さの3倍以上離れて見る

(推奨距離の目安):

42型　約 1.6 m 程度
46型　約 1.7 m 程度
50型　約 1.9 m 程度
54型　約 2.0 m 程度

推奨距離より近い距離でのご使用は、視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ 5〜6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（134～145ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FT3
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

「（重要）本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」（8～11ページ）または本機の[防水などの注意点]（P9）をよくお読みください。お客様の誤った取り扱いに起因する浸水などによる故障はご容赦願います。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-638**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある

▼

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

■各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	窓口	電話	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1210

さくいん

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT3L21-1
H0111TU1031